

# 奥州市 市民アンケート 調査結果報告書

奥州市総合計画/合併検証に関するアンケート

奥州市総務企画部政策企画課

## 目次

1	調査概要	1
2	回答者の属性	2
3	アンケート調査内容・結果・過去のアンケートとの比較	4
(1)	奥州市の暮らしやすさについて	4
1-①	奥州市の暮らしやすさ	4
1-②	暮らしやすい・暮らしにくいと感じる理由	5
1-③	満足度の高い項目・特に不満を感じる項目	9
1-④	奥州市に住み続けたいか	16
1-⑤	奥州市のことが好きか	17
1-⑥	あなたが考える奥州市の魅力	18
1-⑦	奥州市の魅力や情報の発信	20
(2)	これからの奥州市のまちづくりについて	21
2-①	豊かな自然環境との共生に関する取組	21
2-②	産業振興に関する取組	23
2-③	健康・福祉に関する取組	25
2-④	都市基盤の整備に関する取組	27
2-⑤	教育、文化、スポーツに関する取組	29
2-⑥	特に重点的に取り組むべき・そのためであれば我慢できると思う項目	31
(3)	新型コロナウイルス感染症の流行による影響等について	36
3-①	家庭で「困っていること」	36
3-②	優先的に実施してほしい取組	38
3-③	中長期的に実施してほしい取組	39
(4)	奥州市合併に対するあなたのお考えについて	41
4-①	合併前と比べて現在はどうのように変わったか	41
4-②	合併に対する評価等（自由記載）	43

## I 調査概要

### (1) 実施の目的

奥州市総合計画の後期基本計画策定に当たり、現状と目指すべき方向性などを明らかにするため、また、新型コロナウイルス感染症による市民生活への影響や市町村合併による効果や課題に関する市民の意識を把握するため、以下のとおり実施しました。

調査期間	令和3年5月1日（土）から同月31日（月）まで
調査方法	調査票を郵送により配布・回収（返信用封筒を同封）
調査対象	20歳以上の市民3,000人
抽出方法	5地域の人口バランスを考慮しつつ住民基本台帳から無作為抽出
回収状況	回答者数1,268人 回答率42.3%
主な設問	1 奥州市の暮らしやすさについて 2 これからの奥州市のまちづくりについて 3 新型コロナウイルス感染症の流行による影響等について 4 奥州市合併に対するあなたのお考えについて

※ 回収状況は、6月15日到着分までを有効回答とし、それ以降に到着した回答については、参考資料として取扱うこととしています。

### (2) 調査結果利用上の留意点

ア 回答比率は、特に記載がない限り、当該アンケート回答者数に対するその選択肢を選択した回答者数の割合です。小数点第2位を四捨五入していますので、合計が100%にならないことがあります。また、2つ以上の回答を求めた質問の場合、その回答比率の合計は100%を超えることとなります。

イ 図表に示された「n」は回答者数を示しています。

ウ 時点検証のために表示している過去のアンケートの詳細は以下のとおりです。

H18	総合計画策定に係る市民アンケート調査 調査期間：平成18年4月27日から同年5月7日まで 対象者数：3,043人 回答者数：2,526人 回答率：83.0%
H22	まちづくり市民アンケート 調査期間：平成22年8月12日から同月31日まで 対象者数：3,030人 回答者数：1,301人 回答率：42.9%
H27	まちづくり市民アンケート調査 調査期間：平成27年8月7日から同月24日まで 対象者数：3,000人 回答者数：995人 回答率：33.2%
R1	奥州市市民アンケート 調査期間：令和元年11月20日から同年12月6日まで 対象者数：3,000人 回答者数：1,121人 回答率：37.4%

## 2 回答者の属性

### (1) 性別

	R3		R1	
男性	577	45.50%	487	43.40%
女性	686	54.10%	628	56.00%
無回答	5	0.40%	6	0.50%

### (2) 年齢

	R3		R1	
20代	64	5.00%	61	5.40%
30代	122	9.60%	117	10.40%
40代	160	12.60%	143	12.80%
50代	206	16.20%	190	16.90%
60代	282	22.20%	237	21.10%
70代	278	21.90%	227	20.20%
80代以上	152	12.00%	141	12.60%
無回答	4	0.30%	5	0.40%

### (3) 居住地

	R3		R1	
水沢	623	49.10%	546	48.70%
江刺	296	23.30%	251	22.40%
前沢	141	11.10%	133	11.90%
胆沢	169	13.30%	140	12.50%
衣川	33	2.60%	44	3.90%
無回答	6	0.50%	7	0.60%

(4) 職業

	R3		R1	
	人数	割合	人数	割合
農林業	124	9.80%	101	9.00%
自営業	105	8.30%	88	7.90%
会社員、公務員等	432	34.10%	379	33.80%
アルバイト、パートタイム	143	11.30%	140	12.50%
家事専業	216	17.00%	198	17.70%
学生	5	0.40%	12	1.10%
その他	184	14.50%	173	15.40%
無回答	59	4.70%	30	2.70%

(5) 居住年数（合併前の旧市町村を含む。）

	R3		R1	
	人数	割合	人数	割合
1年未満	9	0.70%	11	1.00%
1年以上5年未満	47	3.70%	33	2.90%
5年以上10年未満	37	2.90%	33	2.90%
10年以上20年未満	98	7.70%	68	6.10%
20年以上	1,070	84.40%	968	86.40%
無回答	7	0.60%	8	0.70%

### 3 アンケート調査内容・結果・過去のアンケートとの比較

#### (1) 奥州市の暮らしやすさについて

1-① あなたは、奥州市の暮らしやすさについてどのようにお感じですか？次の中から1つ選んでください。

市民が感じる奥州市の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」、「どちらかといえば暮らしやすい」と感じている割合は55.8%で、前回の55.5%から微増しました。

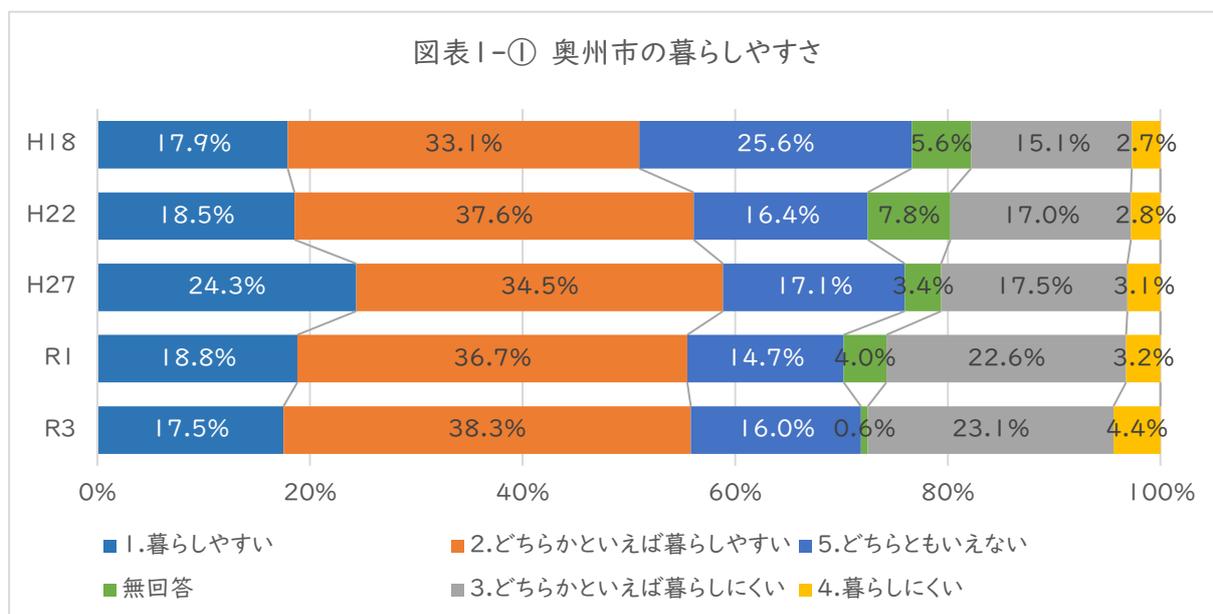
一方、「暮らしにくい」、「どちらかといえば暮らしにくい」と感じている割合は27.5%で、前回の25.8%から1.7ポイント増加しました。

#### 【過去のアンケートとの比較（図表1-①）】

「暮らしやすい」、「どちらかといえば暮らしやすい」と感じている割合は、51.0%（H18）から58.8%（H27）まで増加傾向にありましたが、前回は55.5%と減少し、今回は55.9%（R3）と微増しました。

また、「暮らしにくい」、「どちらかといえば暮らしにくい」と感じている割合は、17.8%（H18）から27.5%（R3）まで増加傾向にあります。

	R3		R1	
1.暮らしやすい	222	17.50%	211	18.80%
2.どちらかといえば暮らしやすい	486	38.30%	411	36.70%
3.どちらかといえば暮らしにくい	293	23.10%	253	22.60%
4.暮らしにくい	56	4.40%	36	3.20%
5.どちらともいえない	203	16.00%	165	14.70%
無回答	8	0.60%	45	4.00%



1—② (1)暮らしやすい又は(2)どちらかといえば暮らしやすいと答えた方にお聞きします。それはどのような理由からですか？次から3つまで選んでください。

暮らしやすいと感じる理由は、前回同様に「自然環境が良いから」が54.1%（前回54.3%）、「買い物が便利だから」が48.0%（前回38.3%）、「人間関係、近隣関係が良いから」が45.6%（前回47.4%）などが上位に選ばれました。

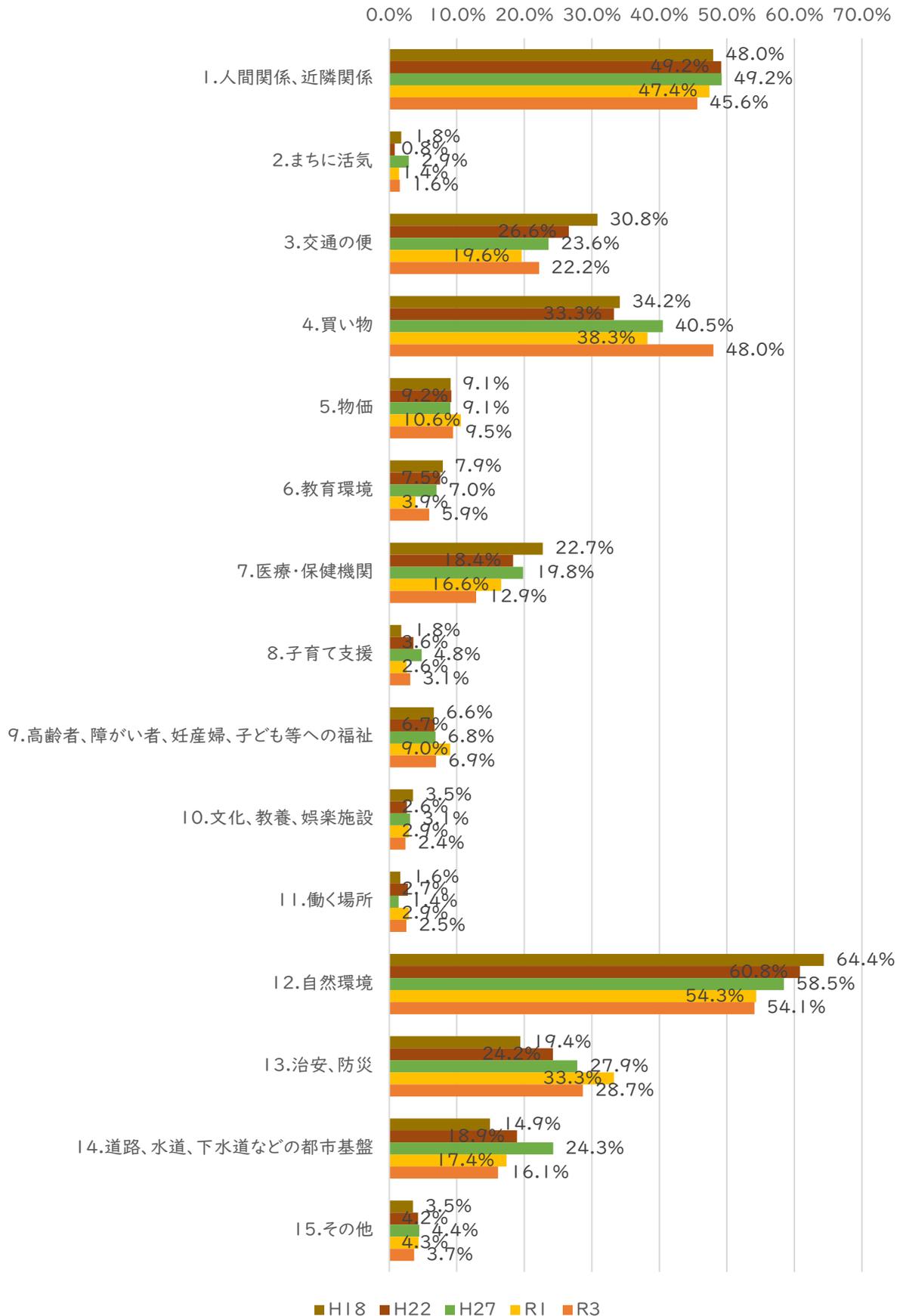
【過去のアンケートとの比較（図表1-②-1）】

「買い物が便利だから」が34.2%（H18）から48.0%（R3）と13.8ポイント増加、「治安、防災の面で安心できるから」が19.4%（H18）から28.7%（R3）と9.3ポイント増加するなど、暮らしやすいと感じる理由として増加傾向にあります。

一方、「交通の便が良いから」は30.8%（H18）から22.2%（R3）と8.6ポイント減少、「医療・保健機関が充実しているから」は22.7%（H18）から13.0%（R3）と9.7ポイント減少、「自然環境が良いから」は64.4%（H18）から54.0%（R3）と10.4ポイント減少するなど、暮らしやすいと感じる理由として減少傾向にあります。

	R3 (n=708)		R1 (n=622)	
	人数	割合	人数	割合
1.人間関係、近隣関係が良いから	323	45.60%	295	47.40%
2.まちに活気があるから	11	1.60%	9	1.40%
3.交通の便が良いから	157	22.20%	122	19.60%
4.買い物が便利だから	340	48.00%	238	38.30%
5.物価が安いから	67	9.50%	66	10.60%
6.教育環境が良いから	42	5.90%	24	3.90%
7.医療・保健機関が充実しているから	91	12.90%	103	16.60%
8.子育て支援が充実しているから	22	3.10%	16	2.60%
9.高齢者、障がい者、妊産婦、子ども等への福祉が充実しているから	49	6.90%	56	9.00%
10.文化、教養、娯楽施設が充実しているから	17	2.40%	18	2.90%
11.働く場所がたくさんあるから	18	2.50%	18	2.90%
12.自然環境が良いから	383	54.10%	338	54.30%
13.治安、防災の面で安心できるから	203	28.70%	207	33.30%
14.道路、水道、下水道などの都市基盤が十分整備されているから	114	16.10%	108	17.40%
15.その他 (生まれたところだからなど)	26	3.70%	27	4.30%

図表1-②-1 暮らしやすいと感じる理由



1—② (3)どちらかといえば暮らしにくい又は(4)暮らしにくいと答えた方にお聞きします。それはどのような理由からですか？次から3つまで選んでください。

暮らしにくいと感じる理由は、前回同様に「まちに活気がないから」が54.7%（前回50.2%）、「交通の便が悪いから」が49.0%（前回53.6%）、「医療・保健機関が不足しているから」が43.0%（前回43.6%）などが上位に選ばれています。

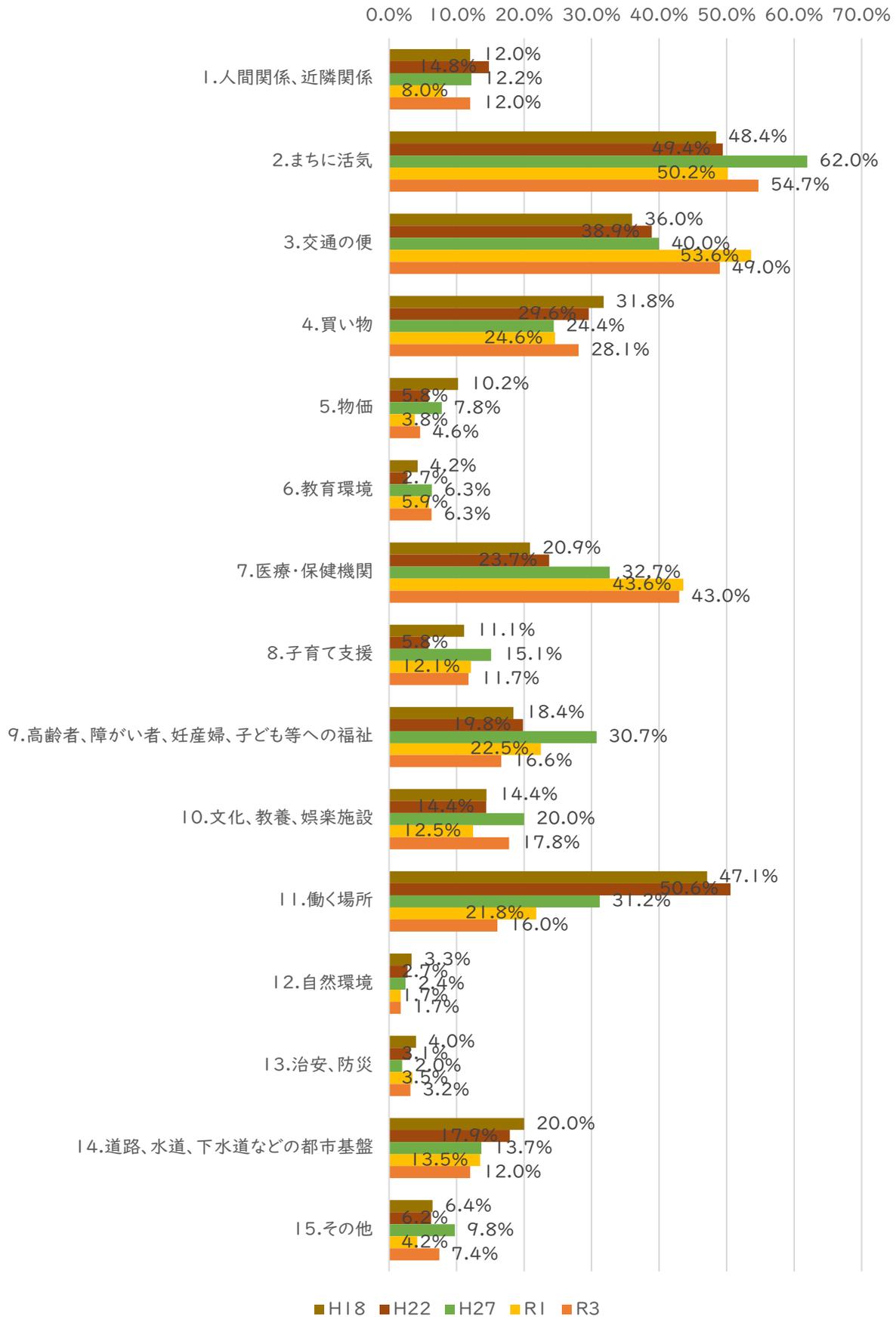
【過去のアンケートとの比較（図表1-②-2）】

「交通の便が悪いから」は36.0%（H18）から49.0%（R3）と13.0ポイント増加、「医療・保健機関が不足しているから」は20.9%（H18）から43.0%（R3）と22.1ポイントと大きく増加するなど、暮らしにくいと感じる理由として増加傾向にあります。

一方、「物価が高いから」は10.2%（H18）から4.6%（R3）と5.6ポイント減少、「道路、水道、下水道などの都市基盤が不十分だから」は20.0%（H18）から12.0%（R3）と8.0ポイント減少するなど減少傾向にあり、特に、「働く場所が少ないから」については47.1%（H18）から16.0%（R3）と31.1ポイント減少しており、暮らしにくいと感じる理由として挙げる人が大きく減少しています。

	R3 (n=349)		R1 (n=289)	
1.人間関係、近隣関係が悪いから	42	12.00%	23	8.00%
2.まちに活気がないから	191	54.70%	145	50.20%
3.交通の便が悪いから	171	49.00%	155	53.60%
4.買い物が不便だから	98	28.10%	71	24.60%
5.物価が高いから	16	4.60%	11	3.80%
6.教育環境が悪いから	22	6.30%	17	5.90%
7.医療・保健機関が不足しているから	150	43.00%	126	43.60%
8.子育て支援が不足しているから	41	11.70%	35	12.10%
9.高齢者、障がい者、妊産婦、子ども等への福祉が不足しているから	58	16.60%	65	22.50%
10.文化、教養、娯楽施設が不足しているから	62	17.80%	36	12.50%
11.働く場所が少ないから	56	16.00%	63	21.80%
12.自然環境が悪いから	6	1.70%	5	1.70%
13.治安、防災の面で不安だから	11	3.20%	10	3.50%
14.道路、水道、下水道などの都市基盤が不十分だから	42	12.00%	39	13.50%
15.その他 (税金が高い、Suicaが使えないなど)	26	7.40%	12	4.20%

図表1-②-2 暮らしにくいと感じる理由



1—③ 次に掲げた項目について、特に満足度が高い項目と、特に不満を感じる項目を、それぞれ3つずつ選び、その番号を記入してください。

特に満足度が高い項目については、「ゴミの減量、リサイクルの取組」が最も多く挙げられており、他の項目を大きく引き離し39.4%の回答者が、満足度が高いと回答しています。

一方、「商業街の魅力と賑わい」32.2%、「医療・保健サービスの充実」30.5%、「公共交通機関（鉄道・バス）の利便性」25.4%の3つの項目については、他の項目に比べて特に不満を感じている割合が多くなっています。

【過去のアンケートとの比較（図表1-③-1、1-③-2、1-③※1 1-③※2）】

過去のアンケートにおいては、1から28までの項目について、「非常に満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」※、「どちらかといえば不満」、「非常に不満」から該当する番号を選択する方式でしたが、今回は、特に満足度が高い項目と特に不満を感じる項目をそれぞれ3つ選択する方式に変更していることから、単純に比較を行うことができない状況となっています。

※ H22のみ「どちらともいえない」ではなく「わからない」

過去のアンケートの推移については、「非常に満足」、「どちらかといえば満足」と回答した割合を集計した図表1-③※1、「どちらかといえば不満」、「非常に不満」と回答した割合を集計した図表1-③※2のとおり。

※ H22のみ大きく突出している項目が多い要因のひとつとして、選択肢を「どちらともいえない」ではなく「わからない」としたことが影響し、他のアンケートでは「どちらともいえない」を選択する層が、それぞれに振り分けられたのではないかと推察されます。

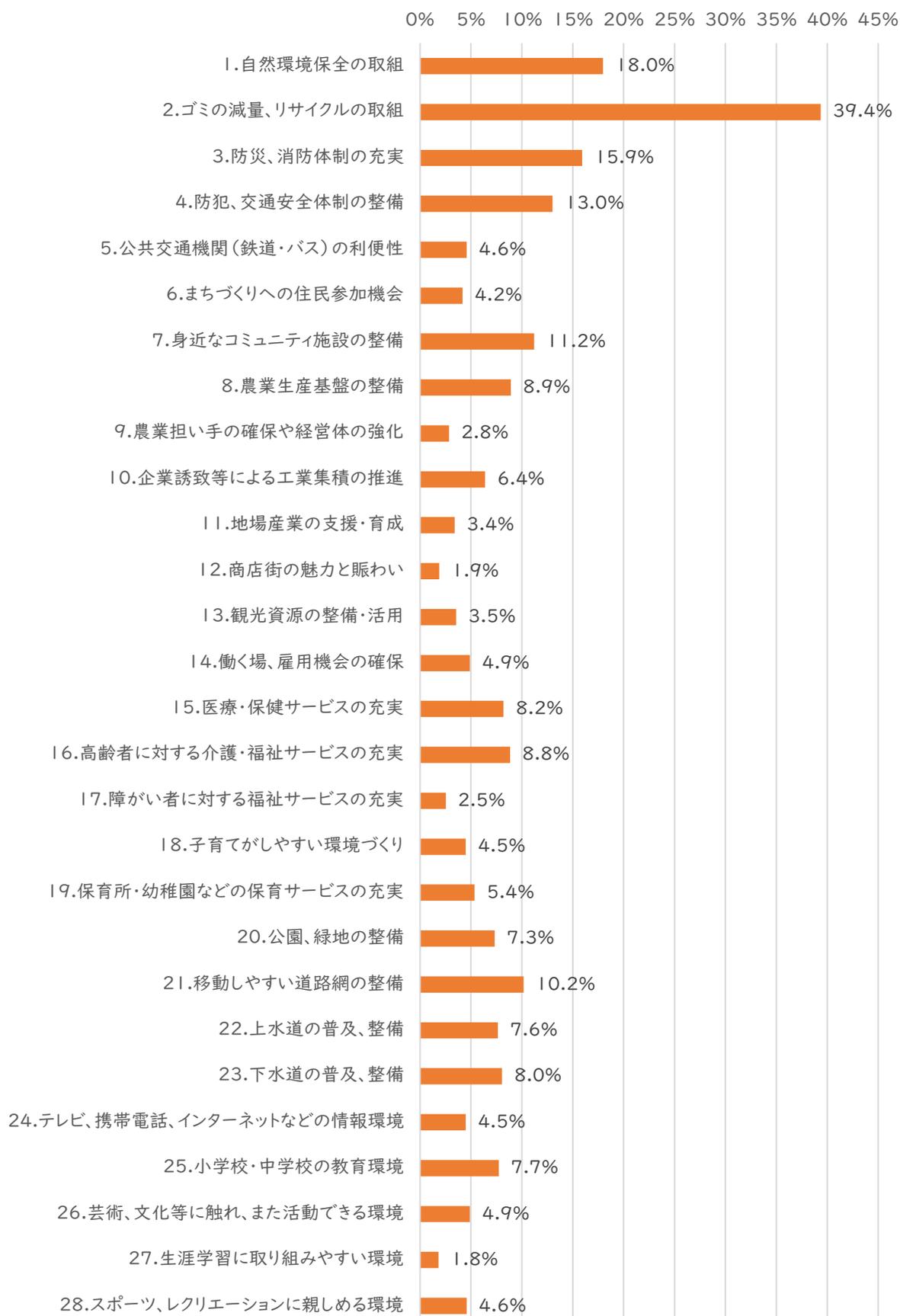
1-③ 特に満足度が高い項目

	R3	
	件数	割合
1.自然環境保全の取組	228	18.00%
2.ゴミの減量、リサイクルの取組	499	39.40%
3.防災、消防体制の充実	202	15.90%
4.防犯、交通安全体制の整備	165	13.00%
5.公共交通機関（鉄道・バス）の利便性	58	4.60%
6.まちづくりへの住民参加機会	53	4.20%
7.身近なコミュニティ施設の整備	142	11.20%
8.農業生産基盤の整備	113	8.90%
9.農業担い手の確保や経営体の強化	36	2.80%
10.企業誘致等による工業集積の推進	81	6.40%
11.地場産業の支援・育成	43	3.40%
12.商業街の魅力と賑わい	24	1.90%
13.観光資源の整備・活用	45	3.50%
14.働く場、雇用機会の確保	62	4.90%
15.医療・保健サービスの充実	104	8.20%
16.高齢者に対する介護・福祉サービスの充実	112	8.80%
17.障がい者に対する福祉サービスの充実	32	2.50%
18.子育てがしやすい環境づくり	57	4.50%
19.保育所・幼稚園などの保育サービスの充実	68	5.40%
20.公園、緑地の整備	93	7.30%
21.移動しやすい道路網の整備	129	10.20%
22.上水道の普及、整備	97	7.60%
23.下水道の普及、整備	102	8.00%
24.テレビ、携帯電話、インターネットなどの情報環境	57	4.50%
25.小学校・中学校の教育環境	98	7.70%
26.芸術、文化等に触れ、また活動できる環境	62	4.90%
27.生涯学習に取り組みやすい環境	23	1.80%
28.スポーツ、レクリエーションに親しめる環境	58	4.60%

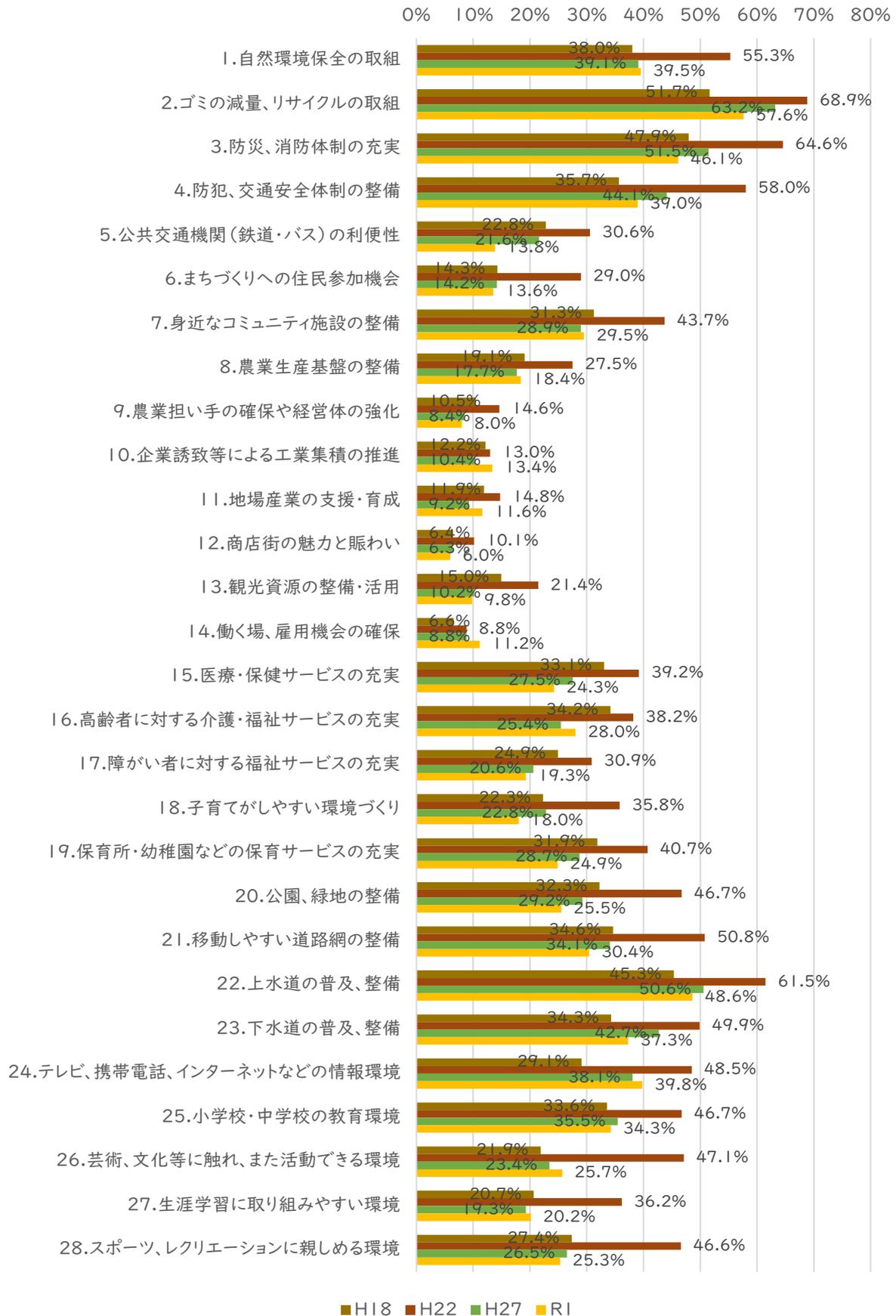
1-③ 特に不満を感じる項目

	R3	
	件数	割合
1.自然環境保全の取組	15	1.20%
2.ゴミの減量、リサイクルの取組	28	2.20%
3.防災、消防体制の充実	15	1.20%
4.防犯、交通安全体制の整備	19	1.50%
5.公共交通機関（鉄道・バス）の利便性	322	25.40%
6.まちづくりへの住民参加機会	34	2.70%
7.身近なコミュニティ施設の整備	37	2.90%
8.農業生産基盤の整備	37	2.90%
9.農業担い手の確保や経営体の強化	109	8.60%
10.企業誘致等による工業集積の推進	124	9.80%
11.地場産業の支援・育成	47	3.70%
12.商業街の魅力と賑わい	408	32.20%
13.観光資源の整備・活用	94	7.40%
14.働く場、雇用機会の確保	177	14.00%
15.医療・保健サービスの充実	387	30.50%
16.高齢者に対する介護・福祉サービスの充実	191	15.10%
17.障がい者に対する福祉サービスの充実	50	3.90%
18.子育てがしやすい環境づくり	173	13.60%
19.保育所・幼稚園などの保育サービスの充実	83	6.50%
20.公園、緑地の整備	118	9.30%
21.移動しやすい道路網の整備	162	12.80%
22.上水道の普及、整備	25	2.00%
23.下水道の普及、整備	112	8.80%
24.テレビ、携帯電話、インターネットなどの情報環境	81	6.40%
25.小学校・中学校の教育環境	72	5.70%
26.芸術、文化等に触れ、また活動できる環境	73	5.80%
27.生涯学習に取り組みやすい環境	75	5.90%
28.スポーツ、レクリエーションに親しめる環境	111	8.80%

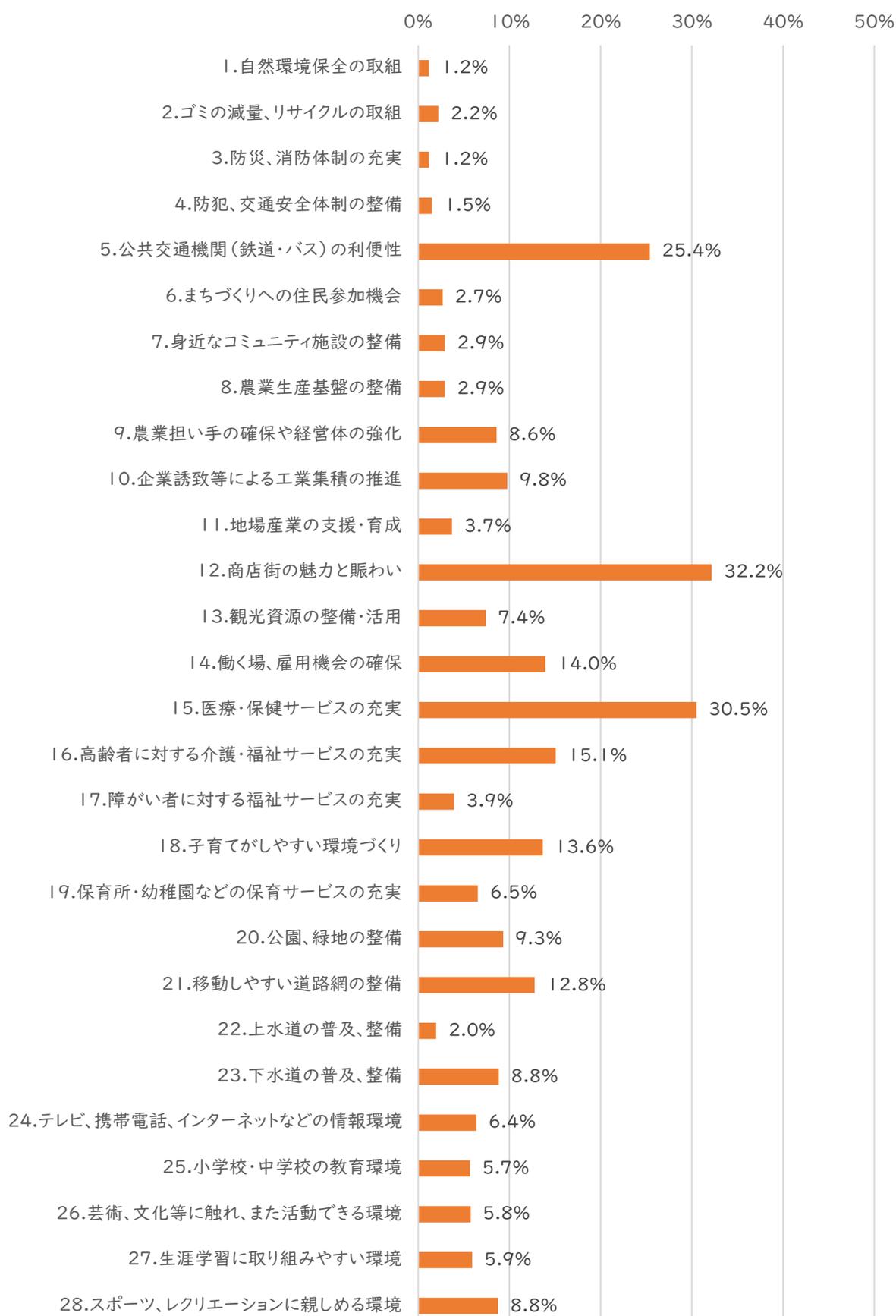
図表1-③ 特に満足度が高い項目



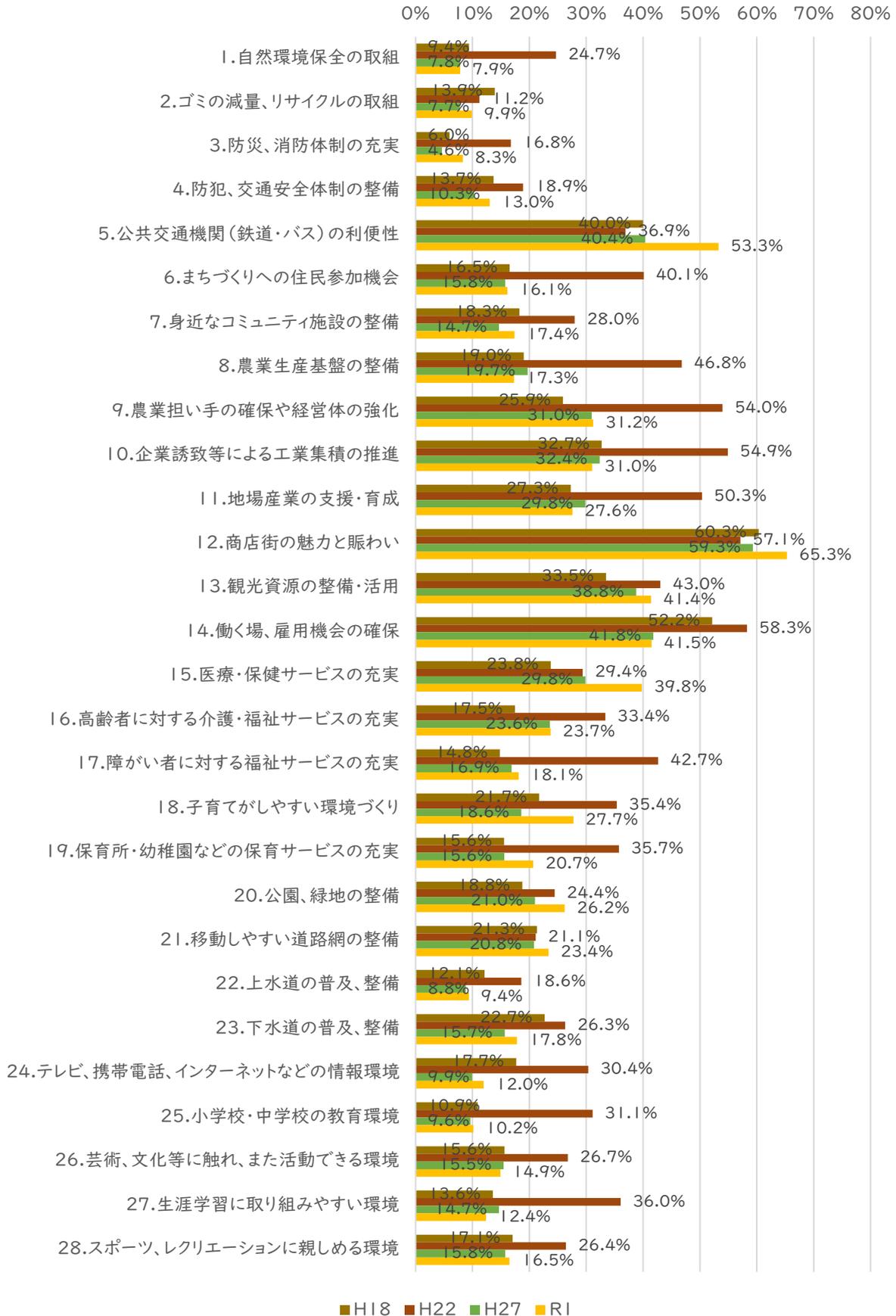
図表I-③※I 暮らしの満足度



図表1-③-2 特に不満に感じる項目



図表1-③※2 暮らしの不満度



1-④ あなたは、奥州市に住み続けたいですか？

奥州市への定住意向については、「はい」（住み続けたい）が「いいえ」（移転したい）が大きく上回り、回答者のうち65.4%（前回75.4%）が奥州市に住み続けたいと回答しています。

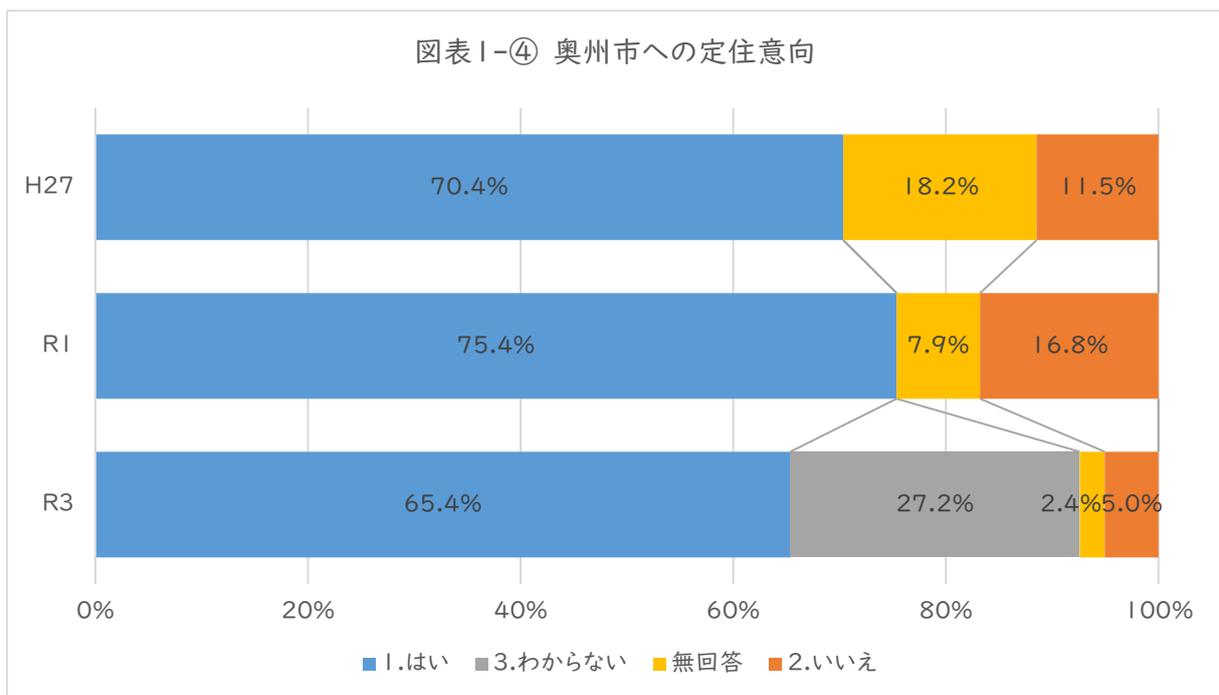
なお、「はい」（住み続けたい）と回答した割合が前回より10.0ポイント減少した要因のひとつとして、選択肢に「わからない」を加えたことにより、一定数の回答が「わからない」を選択したことが影響しているのではないかと推察されます。

【過去のアンケートとの比較（図表1-④）】

奥州市への定住意向については、H27のアンケートから創設された項目です。どの年も「いいえ」（移転したい）を大きく上回る約6～7割の回答者が奥州市に住み続けたいと回答しています。

今回、「はい」（住み続けたい）と回答した割合65.4%が前回（75.4%）より10.0ポイント減少していますが、「いいえ」（移転したい）と回答した割合も前回の16.8%から5.0%と11.8ポイント減少しています。

	R3		R1	
1.はい	829	65.40%	845	75.40%
2.いいえ	64	5.00%	188	16.80%
3.わからない	345	27.20%	-	-
無回答	30	2.40%	88	7.90%



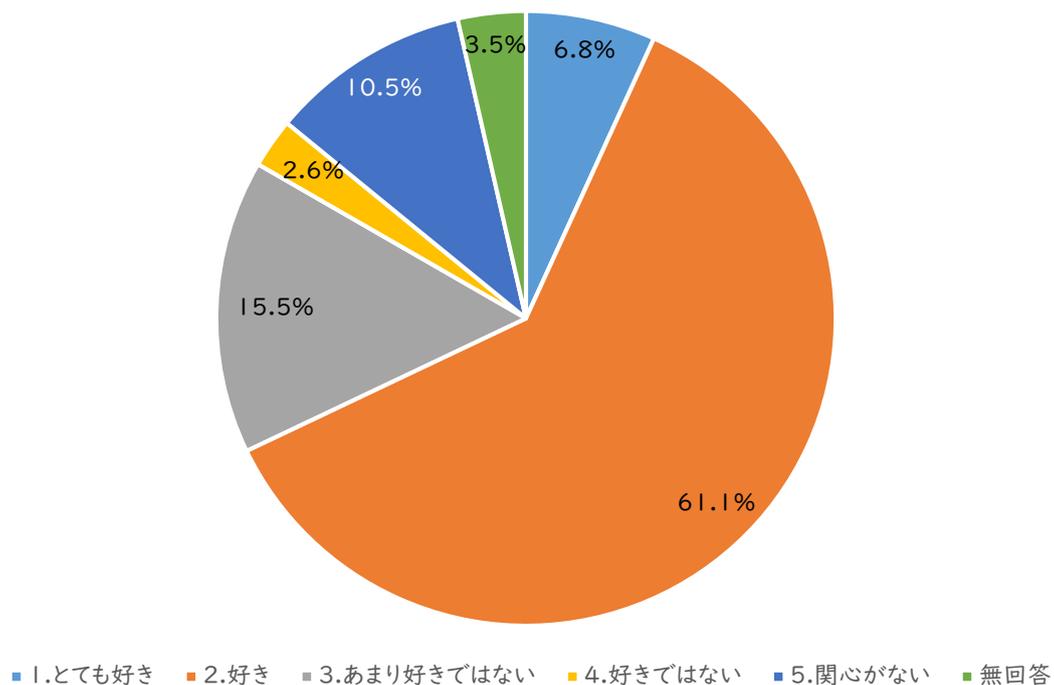
1—⑤ あなたは、奥州市のことが好きですか？

【R3新規項目】

奥州市のことが好きかどうかについては、「とても好き」、「好き」と感じている割合（67.9%）が、「あまり好きではない」、「好きではない」、「関心がない」と感じている割合（28.6%）を大きく上回りました。

	R3	
1.とても好き	86	6.80%
2.好き	775	61.10%
3.あまり好きではない	196	15.50%
4.好きではない	33	2.60%
5.関心がない	133	10.50%
無回答	45	3.50%

図表1-⑤ 奥州市のことが好きですか



1—⑥ あなたが考える奥州市の魅力は何ですか？次の中から3つ以内で選んでください。

奥州市の魅力については、前回同様に「自然環境に恵まれている」63.6%（前回72.0%）、「買い物など日常生活の便がいい」32.3%（前回31.0%）などが上位に選ばれました。

また、今回新たに追加された選択肢の中では、「市民の心が温かい」が最も回答された割合が高く24.4%の回答がありました。

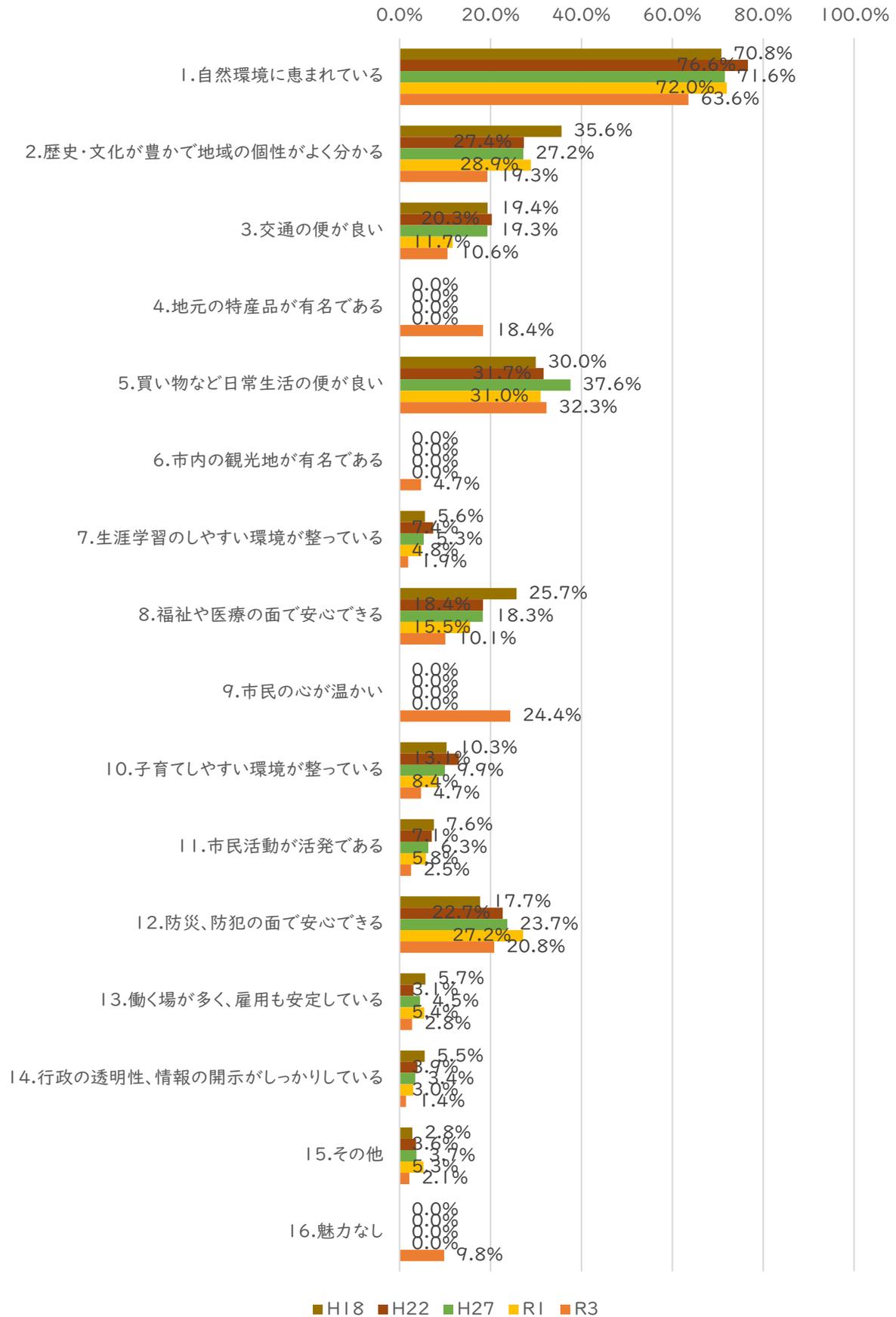
【過去のアンケートとの比較（図表1-⑥）】

今回のアンケートにおいては、新たに「地元の特産品が有名である」、「市内の観光地が有名である」、「市民の心が温かい」、「魅力なし」の4つの選択肢を新たに追加していることにより、既存の選択肢については、「買い物など日常生活の便がいい」を除くすべての回答割合が減少しています。

なお、R1までの回答状況で比較すると、「防災、防犯の面で安心できる」を奥州市の魅力として回答した割合は増加傾向にあり、「交通の便が良い」、「福祉や医療の面で安心できる」、「子育てしやすい環境が整っている」などについては、減少傾向にあります。

	R3		R1	
	件数	割合	件数	割合
1.自然環境に恵まれている	806	63.60%	807	72.00%
2.歴史・文化が豊かで地域の個性がよく分かる	245	19.30%	324	28.90%
3.交通の便が良い	134	10.60%	131	11.70%
4.地元の特産品が有名である	233	18.40%	-	-
5.買い物など日常生活の便が良い	410	32.30%	348	31.00%
6.市内の観光地が有名である	60	4.70%	-	-
7.生涯学習のしやすい環境が整っている	24	1.90%	54	4.80%
8.福祉や医療の面で安心できる	128	10.10%	174	15.50%
9.市民の心が温かい	309	24.40%	-	-
10.子育てしやすい環境が整っている	60	4.70%	94	8.40%
11.市民活動が活発である	32	2.50%	65	5.80%
12.防災、防犯の面で安心できる	264	20.80%	305	27.20%
13.働く場が多く、雇用も安定している	35	2.80%	61	5.40%
14.行政の透明性、情報の開示がしっかりしている	18	1.40%	34	3.00%
15.その他 (大谷翔平選手、国立天文台など)	27	2.10%	59	5.30%
16.魅力なし	124	9.80%	-	-

図表I-⑥ 奥州市の魅力



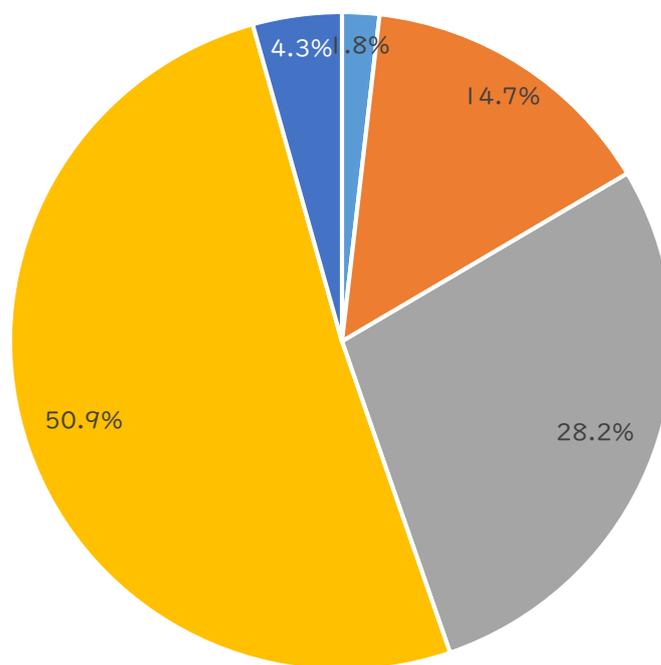
1-⑦ あなたは、奥州市の魅力や情報を発信していますか？（知人への共有、口コミ、SNSなど）

【R3新規項目】

奥州市の魅力や情報を発信しているかどうかについては、「あまり発信していない」、「発信していない」と回答した割合（79.1%）が、「積極的に発信している」、「たまに発信している」と回答した割合（16.5%）を大きく上回りました。

	R3	
1.積極的に発信している	23	1.80%
2.たまに発信している	186	14.70%
3.あまり発信していない	358	28.20%
4.発信していない	646	50.90%
無回答	55	4.30%

図表1-⑦ 奥州市の魅力の情報発信



■ 1.積極的に発信している ■ 2.たまに発信している ■ 3.あまり発信していない ■ 4.発信していない ■ 無回答

(2) これからの奥州市のまちづくりについて

2—① 豊かな自然環境との共生に関して、今後特にどのようなことに力を入れて取り組むべきとお考えですか？次の中から3つ選んでください。

豊かな自然環境との共生については、前回と同様に「河川、森林等自然環境の適正管理と保全」50.1%（前回45.9%）、「ゴミの減量化やリサイクルの促進」46.1%（前回44.1%）へ力を入れて取り組むべきと考える割合が高いです。

また、「太陽光発電等の新エネルギーの普及促進」に力を入れて取り組むべきと考える割合は、前回の19.2%から35.6%と16.4ポイント増加しました。

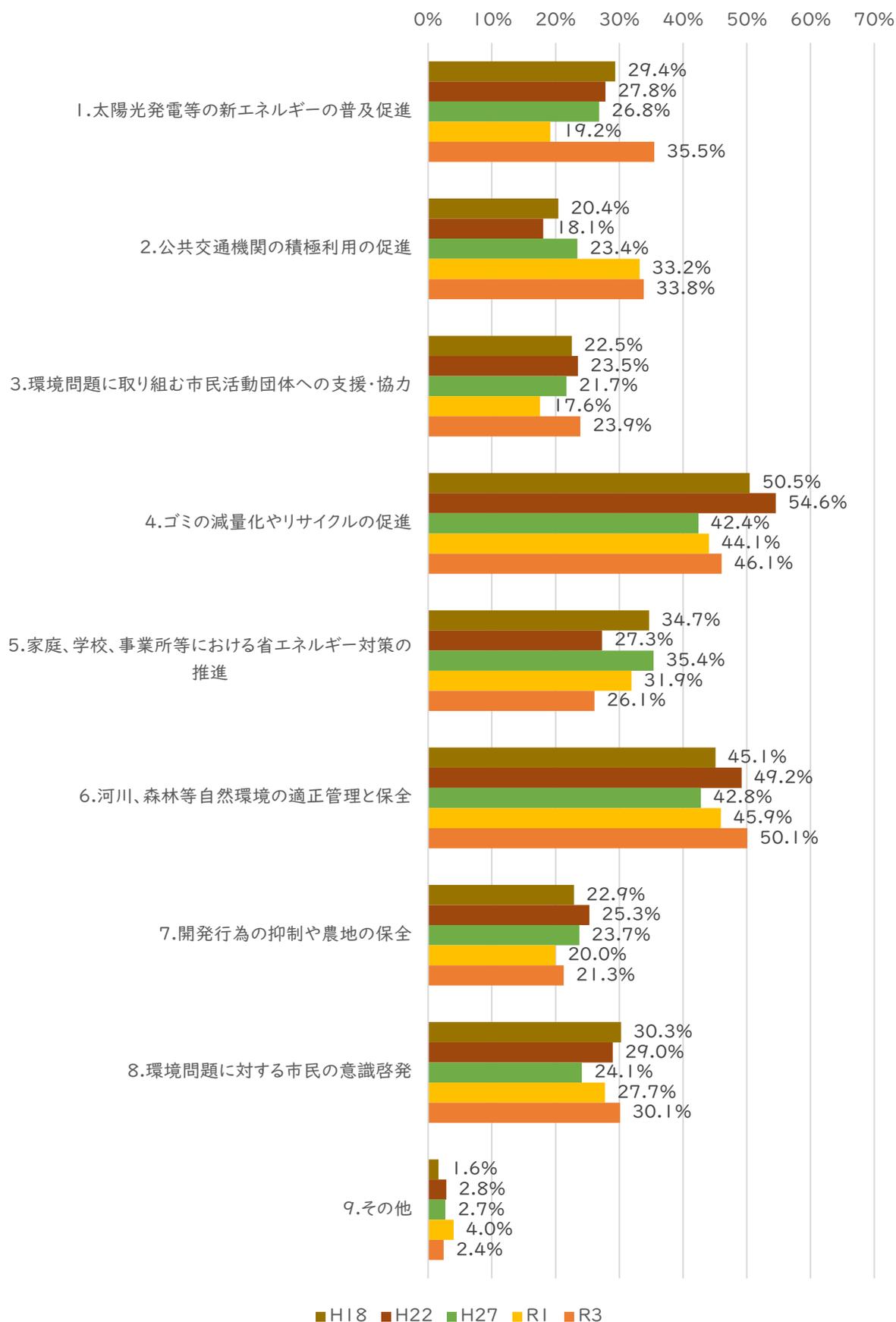
【過去のアンケートとの比較（図表2-①）】

「公共交通機関の積極利用の促進」に力を入れて取り組むべきと考える割合は、18.1%（H22）から33.8%（R3）まで増加傾向にあります。

また、「太陽光発電等の新エネルギーの普及促進」に力を入れて取り組むべきと考える割合は、29.4%（H18）からの19.2%（R1）まで減少傾向にありましたが、今回は35.5%と大きく増加しています

	R3		R1	
1.太陽光発電等の新エネルギーの普及促進	450	35.50%	215	19.20%
2.公共交通機関の積極利用の促進	429	33.80%	372	33.20%
3.環境問題に取り組む市民活動団体への支援・協力	303	23.90%	197	17.60%
4.ゴミの減量化やリサイクルの促進	584	46.10%	494	44.10%
5.家庭、学校、事業所等における省エネルギー対策の推進	331	26.10%	358	31.90%
6.河川、森林等自然環境の適正管理と保全	635	50.10%	515	45.90%
7.開発行為の抑制や農地の保全	270	21.30%	224	20.00%
8.環境問題に対する市民の意識啓発	382	30.10%	311	27.70%
9.その他 (ポイ捨て対策、野生動物の保護など)	31	2.40%	45	4.00%

図表2-① 豊かな自然環境との共生



2—② 産業振興に関する取組について、今後特にどのようなことに力を入れて取り組むべきとお考えですか？次の中から3つ選んでください。

産業振興に関する取組については、「農産物、物産などの地場産品の販売力の強化」50.6%（前回45.5%）、「商店街の活性化」50.4%（前回50.9%）、「女性、高齢者、障がい者が働きやすい環境づくり」43.7%（前回43.4%）に力を入れて取り組むべきと考える割合が高くなりました。

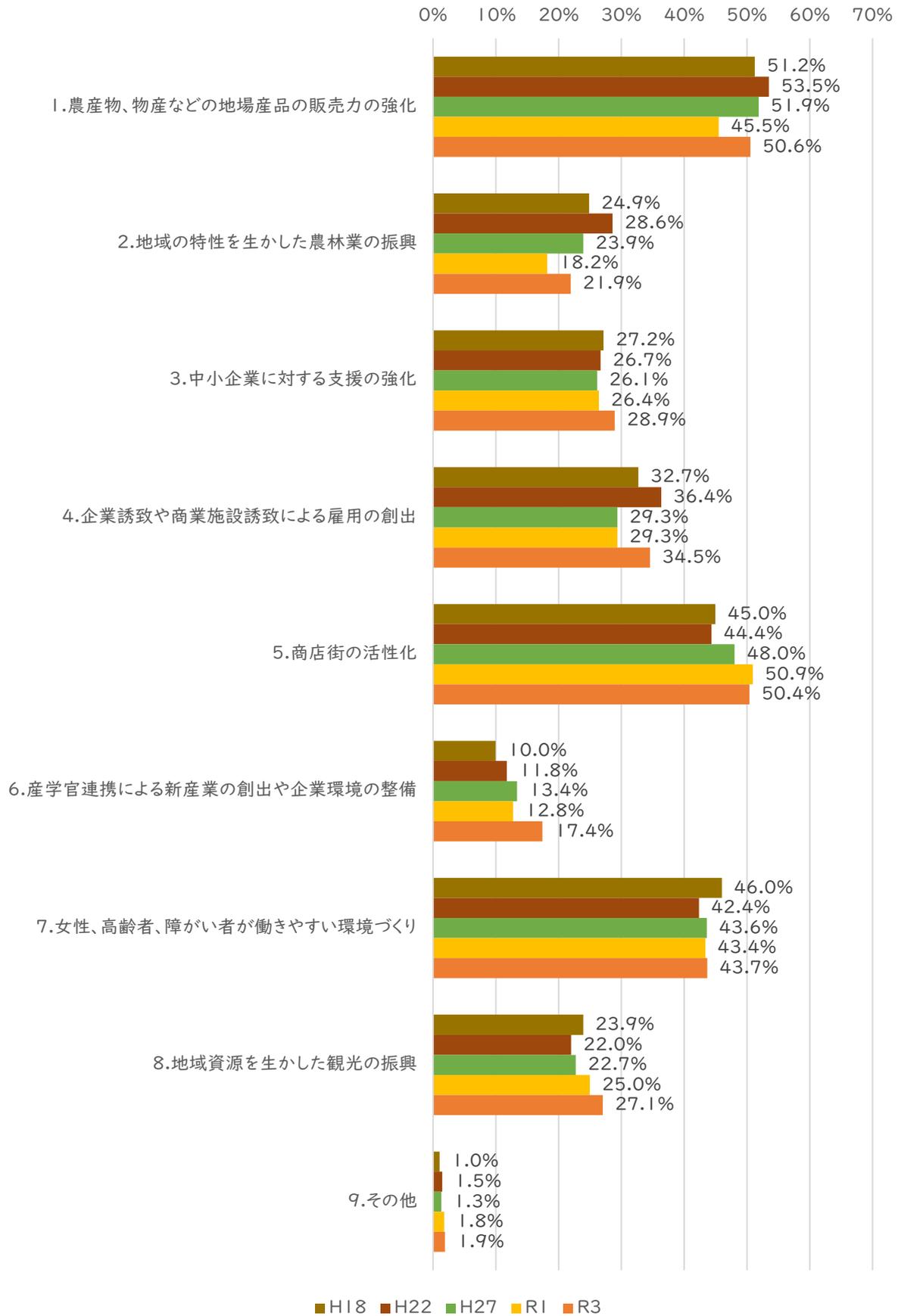
【過去のアンケートとの比較（図表2-②）】

過去のアンケートと比較すると、「商店街の活性化」、「産学官連携による新産業の創出や企業環境の整備」、「地域資源を生かした観光の振興」に力を入れて取り組むべきと考える割合は、増加傾向にあります。

一方、「農産物、物産などの地場産品の販売力の強化」に力を入れて取り組むべきと考える割合は、53.5%（H22）から45.5%（R1）まで減少傾向にありましたが、今回は50.6%と5.1ポイント増加しました。

	R3		R1	
	件数	割合	件数	割合
1.農産物、物産などの地場産品の販売力の強化	641	50.60%	510	45.50%
2.地域の特性を生かした農林業の振興	278	21.90%	204	18.20%
3.中小企業に対する支援の強化	367	28.90%	296	26.40%
4.企業誘致や商業施設誘致による雇用の創出	438	34.50%	329	29.30%
5.商店街の活性化	639	50.40%	571	50.90%
6.産学官連携による新産業の創出や企業環境の整備	221	17.40%	143	12.80%
7.女性、高齢者、障がい者が働きやすい環境づくり	554	43.70%	486	43.40%
8.地域資源を生かした観光の振興	343	27.10%	280	25.00%
9.その他 （地産地消、SNSによる情報発信など）	24	1.90%	20	1.80%

図表2-② 産業振興に関する取組



2—③ 健康・福祉に関する取組について、今後特にどのようなことに力を入れて取り組むべきとお考えですか？次の中から3つ選んでください。

健康・福祉に関する取組については、前回同様に「医療・福祉の高度化や専門的サービスの拡充」60.4%（前回51.3%）、「保育の充実など子育てのしやすい環境の整備」43.6%（前回43.5%）、「予防に重点を置いた健康づくりの促進」41.8%（前回38.4%）に力を入れて取り組むべきと考える割合が高くなりました。

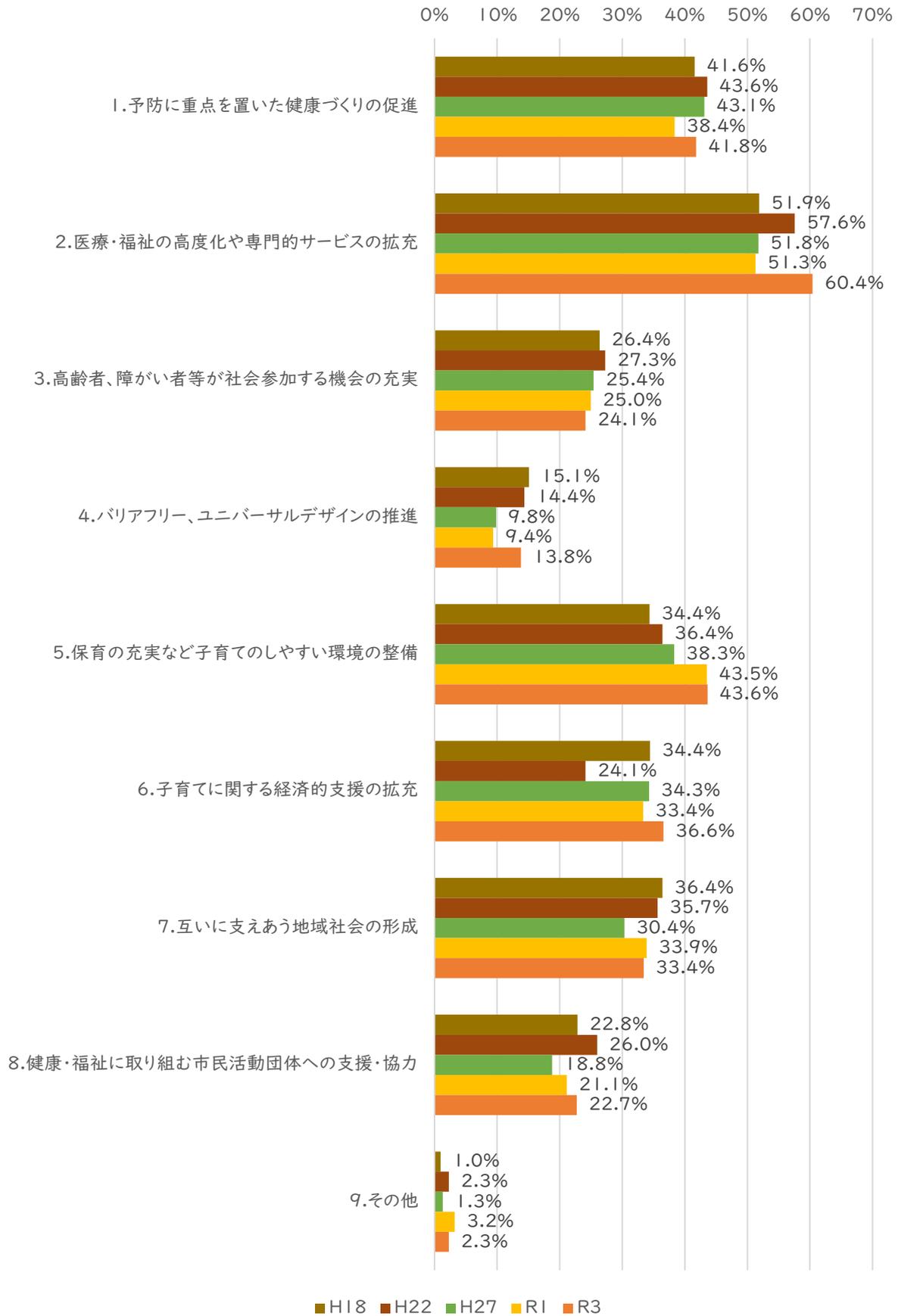
【過去のアンケートとの比較（図表2-③）】

「保育の充実など子育てのしやすい環境の整備」に力を入れて取り組むべきと考える割合は、34.4%（H18）から43.6%（R3）まで増加傾向にあります。

また、「医療・福祉の高度化や専門的サービスの拡充」に力を入れて取り組むべきと考える割合は、51.9%（H18）から51.3%（R1）までほぼ横ばい傾向（H22のみ57.6%）にありましたが、今回は60.4%と9.3ポイント増加しました。

	R3		R1	
	件数	割合	件数	割合
1. 予防に重点を置いた健康づくりの促進	530	41.80%	430	38.40%
2. 医療・福祉の高度化や専門的サービスの拡充	766	60.40%	575	51.30%
3. 高齢者、障がい者等が社会参加する機会の充実	306	24.10%	280	25.00%
4. バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	175	13.80%	105	9.40%
5. 保育の充実など子育てのしやすい環境の整備	553	43.60%	488	43.50%
6. 子育てに関する経済的支援の拡充	464	36.60%	374	33.40%
7. 互いに支えあう地域社会の形成	424	33.40%	380	33.90%
8. 健康・福祉に取り組む市民活動団体への支援・協力	288	22.70%	237	21.10%
9. その他 (産婦人科・小児科の確保など)	29	2.30%	36	3.20%

図表2-③ 健康・福祉に関する取組



2—④ 都市基盤の整備に関する取組について、今後特にどのようなことに力を入れて取り組むべきとお考えですか？次の中から3つ選んでください。

都市基盤の整備に関する取組については、前回同様に「地域の実情に応じた土地利用の促進」53.9%（前回49.0%）、「身近な生活道路の整備」53.2%（前回45.8%）、「市内外への公共交通機関網の整備」36.6%（前回43.4%）に力を入れて取り組むべきと考える割合が高くなりました。

【過去のアンケートとの比較（図表2-④）】

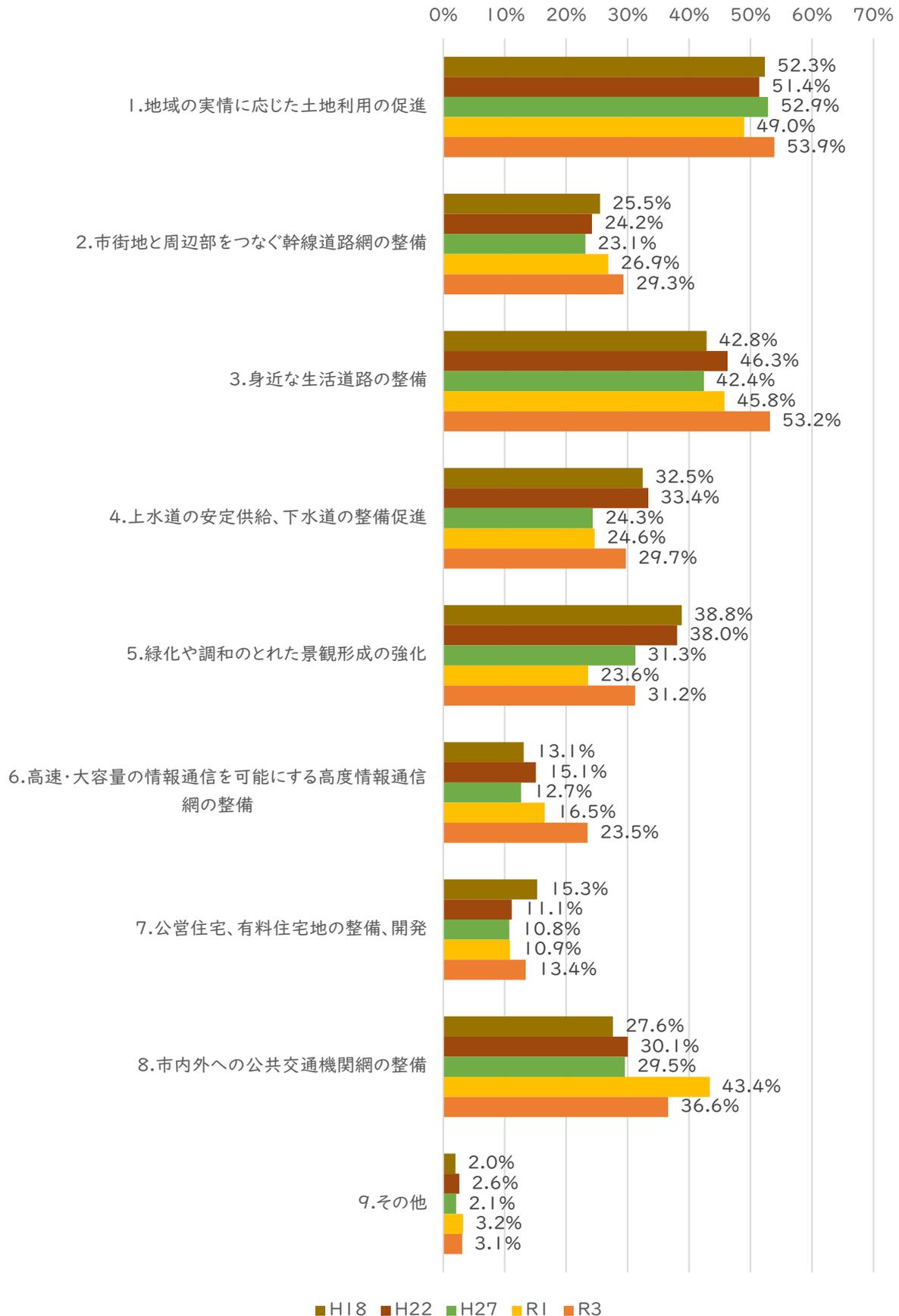
「身近な生活道路の整備」、「高速・大容量の情報通信を可能にする高度情報通信網の整備」に力を入れて取り組むべきと考える割合は、増加傾向にあります。

また、「市内外への公共交通機関網の整備」に力を入れて取り組むべきと考える割合は、29.5%（H27）から43.4%（R1）へ増加しましたが、今回は36.6%と6.8ポイント減少しました。

一方、「緑化や調和のとれた景観形成の強化」に力を入れて取り組むべきと考える割合は、38.8%（H18）から23.6%（R1）まで減少傾向にありましたが、今回は31.2%と7.6ポイント増加しました。

	R3		R1	
	件数	割合	件数	割合
1.地域の実情に応じた土地利用の促進	683	53.90%	549	49.00%
2.市街地と周辺部をつなぐ幹線道路網の整備	372	29.30%	301	26.90%
3.身近な生活道路の整備	674	53.20%	513	45.80%
4.上水道の安定供給、下水道の整備促進	377	29.70%	276	24.60%
5.緑化や調和のとれた景観形成の強化	396	31.20%	264	23.60%
6.高速・大容量の情報通信を可能にする高度情報通信網の整備	298	23.50%	185	16.50%
7.公営住宅、有料住宅地の整備、開発	170	13.40%	122	10.90%
8.市内外への公共交通機関網の整備	464	36.60%	486	43.40%
9.その他 (空き家対策、公園整備など)	39	3.10%	36	3.20%

図表2-④ 都市基盤の整備に関する取組



2—⑤ 教育、文化、スポーツに関する取組について、今後どのようなことに力を入れて取り組むべきとお考えですか？次の中から3つ選んでください。

教育、文化、スポーツに関する取組について、「豊かな感性、確かな学力を育む学校教育の充実」に力を入れて取り組むべきと考える割合が57.2%（前回51.5%）と最も高く、次いで「地域の伝統・文化の継承と芸術に触れる機会の充実」に力を入れて取り組むべきと考える割合が43.6%（前回40.2%）と高くなっています。

【過去のアンケートとの比較（図表2-⑤）】

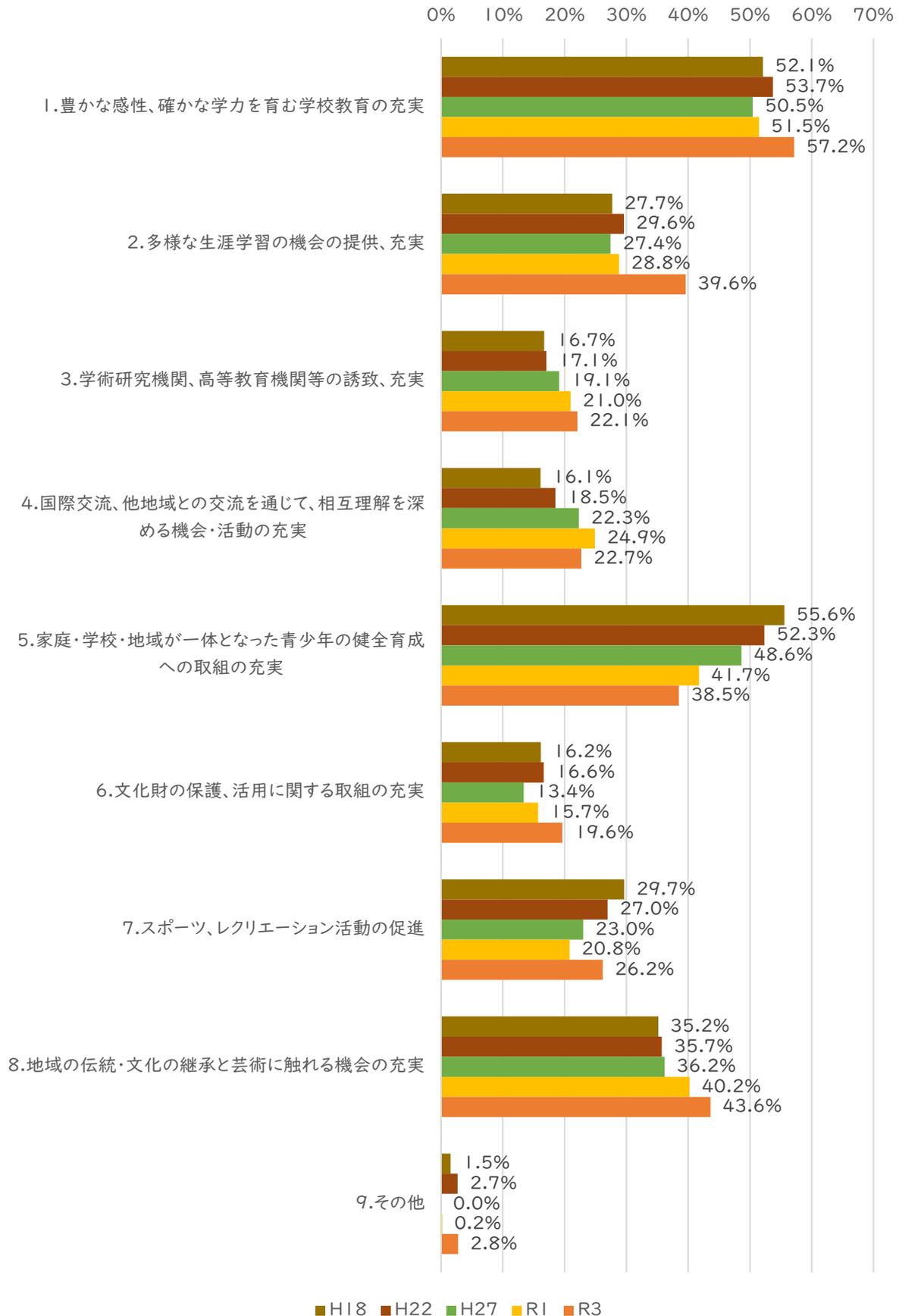
「地域の伝統・文化の継承と芸術に触れる機会の充実」に力を入れて取り組むべきと考える割合は、35.2%（H18）から43.6%（R3）と増加傾向にあります。

また、「多様な生涯学習の機会の提供、充実」に力を入れて取り組むべきと考える割合がH18からR1までは28%前後で推移していましたが、今回は39.6%と10.8ポイントと大きく増加しました。

一方、「家庭・学校・地域が一体となった青少年の健全育成への取組の充実」に力を入れて取り組むべきと考える割合は、55.6%（H18）から38.5%（R3）まで減少傾向にあります。

	R3		R1	
	件数	割合	件数	割合
1.豊かな感性、確かな学力を育む学校教育の充実	725	57.20%	577	51.50%
2.多様な生涯学習の機会の提供、充実	502	39.60%	323	28.80%
3.学術研究機関、高等教育機関等の誘致、充実	280	22.10%	235	21.00%
4.国際交流、他地域との交流を通じて、相互理解を深める機会・活動の充実	288	22.70%	279	24.90%
5.家庭・学校・地域が一体となった青少年の健全育成への取組の充実	488	38.50%	468	41.70%
6.文化財の保護、活用に関する取組の充実	249	19.60%	176	15.70%
7.スポーツ、レクリエーション活動の促進	332	26.20%	233	20.80%
8.地域の伝統・文化の継承と芸術に触れる機会の充実	553	43.60%	451	40.20%
9.その他 (学校設備の老朽化、図書館の充実など)	35	2.80%	2	0.20%

図表2-⑤ 教育、文化、スポーツに関する取組



2—⑥ 次に掲げた項目について、特に重点的に取り組むべきと思う項目と、そのためであれば我慢できると思う項目を、選択肢からそれぞれ3つずつ選び、その番号を記入してください。

特に重点的に取り組むべきと思う項目としては、「医療・保健サービスの充実」30.4%（前回31.4%）が前回同様に最も多く、次いで、「働く場、雇用機会の確保」24.7%（前回14.0%）、「商業街の魅力と賑わい」23.5%（前回14.8%）などについて重点的に取り組むべきとされています。

また、そのためであれば我慢できると思う項目については、「スポーツ、レクリエーションに親しめる環境」23.3%（前回17.2%）が最も多く、次いで、「公園、緑地の整備」20.6%（前回16.2%）、「移動しやすい道路網の整備」20.3%（前回13.4%）などが、そのためであれば我慢できると思われています。

【過去のアンケートとの比較（図表2-⑥及び2-⑥'）】

過去のアンケートと比較すると、今回は、「公共交通機関（鉄道・バス）の利便性」、「農業担い手の確保や経営体の強化」、「商業街の魅力と賑わい」、「働く場、雇用機会の確保」などに特に重点的に取り組むべきと思う割合が大きく増加しています。

そのためであれば我慢できると思う割合についても、「高齢者に対する介護・福祉サービスの充実」、「公園、緑地の整備」、「移動しやすい道路網の整備」、「芸術、文化等に触れ、また活動できる環境」、「生涯学習に取り組みやすい環境」、「スポーツ、レクリエーションに親しめる環境」などの割合が大きく増加しています。

※ 上記のように大きく増加した要因のひとつとして、回答選択数が今回は過去のアンケートよりも増加していることが考えられます。

2-⑥ 特に重点的に取り組むべきと思う項目の選択数

	R3	R1	H27	H22	H18
選択数	2.74	2.3	2.14	2.14	2.41

2-⑥' そのためであれば我慢できると思う項目の選択数

	R3	R1	H27	H22	H18
選択数	2.35	2.01	1.91	2.03	2.13

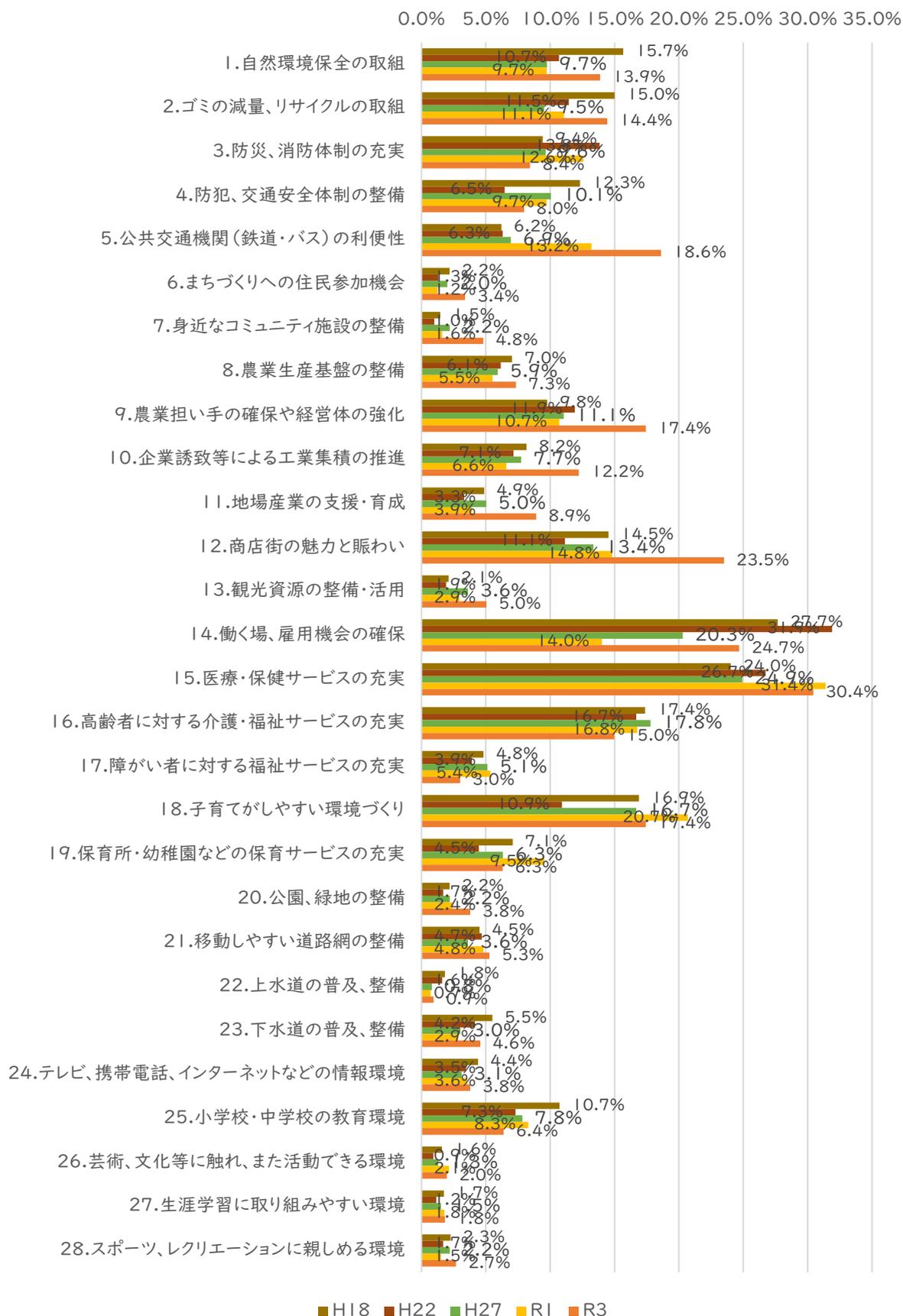
2-⑥ 特に重点的に取り組むべきと思う項目

	R3		R1	
	件数	割合	件数	割合
1.自然環境保全の取組	176	13.90%	109	9.70%
2.ゴミの減量、リサイクルの取組	183	14.40%	124	11.10%
3.防災、消防体制の充実	107	8.40%	141	12.60%
4.防犯、交通安全体制の整備	101	8.00%	109	9.70%
5.公共交通機関（鉄道・バス）の利便性	236	18.60%	148	13.20%
6.まちづくりへの住民参加機会	43	3.40%	14	1.20%
7.身近なコミュニティ施設の整備	61	4.80%	18	1.60%
8.農業生産基盤の整備	93	7.30%	62	5.50%
9.農業担い手の確保や経営体の強化	221	17.40%	120	10.70%
10.企業誘致等による工業集積の推進	155	12.20%	74	6.60%
11.地場産業の支援・育成	113	8.90%	44	3.90%
12.商業街の魅力と賑わい	298	23.50%	166	14.80%
13.観光資源の整備・活用	64	5.00%	33	2.90%
14.働く場、雇用機会の確保	313	24.70%	157	14.00%
15.医療・保健サービスの充実	386	30.40%	352	31.40%
16.高齢者に対する介護・福祉サービスの充実	190	15.00%	188	16.80%
17.障がい者に対する福祉サービスの充実	38	3.00%	60	5.40%
18.子育てがしやすい環境づくり	221	17.40%	232	20.70%
19.保育所・幼稚園などの保育サービスの充実	80	6.30%	107	9.50%
20.公園、緑地の整備	48	3.80%	27	2.40%
21.移動しやすい道路網の整備	67	5.30%	54	4.80%
22.上水道の普及、整備	12	0.90%	8	0.70%
23.下水道の普及、整備	58	4.60%	32	2.90%
24.テレビ、携帯電話、インターネットなどの情報環境	48	3.80%	40	3.60%
25.小学校・中学校の教育環境	81	6.40%	93	8.30%
26.芸術、文化等に触れ、また活動できる環境	25	2.00%	24	2.10%
27.生涯学習に取り組みやすい環境	23	1.80%	20	1.80%
28.スポーツ、レクリエーションに親しめる環境	34	2.70%	17	1.50%

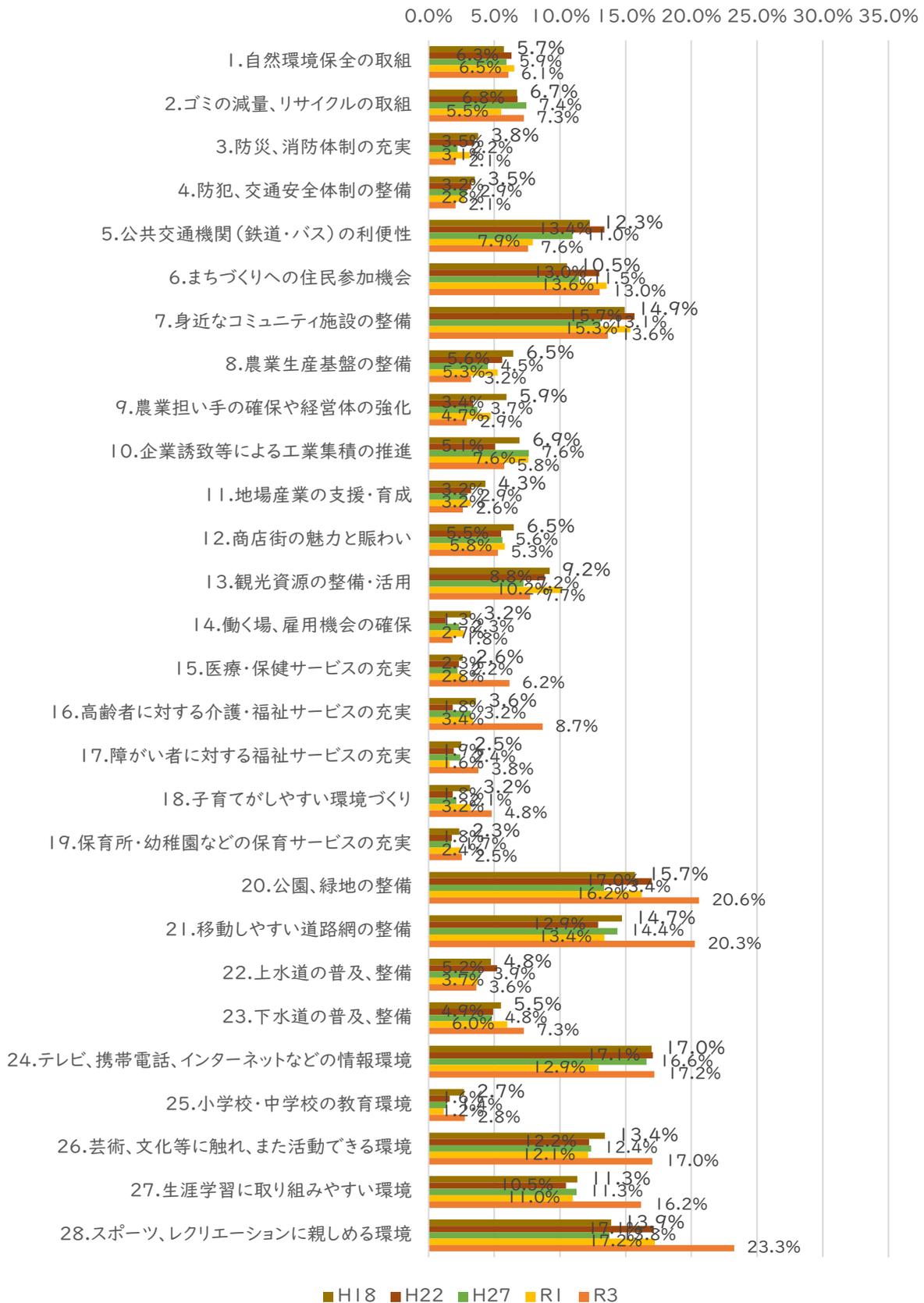
2-⑥' そのためにあれば我慢できると思う項目

	R3		R1	
	件数	割合	件数	割合
1.自然環境保全の取組	77	6.10%	73	6.50%
2.ゴミの減量、リサイクルの取組	92	7.30%	62	5.50%
3.防災、消防体制の充実	26	2.10%	35	3.10%
4.防犯、交通安全体制の整備	26	2.10%	31	2.80%
5.公共交通機関（鉄道・バス）の利便性	96	7.60%	89	7.90%
6.まちづくりへの住民参加機会	165	13.00%	152	13.60%
7.身近なコミュニティ施設の整備	173	13.60%	172	15.30%
8.農業生産基盤の整備	41	3.20%	59	5.30%
9.農業担い手の確保や経営体の強化	37	2.90%	53	4.70%
10.企業誘致等による工業集積の推進	73	5.80%	85	7.60%
11.地場産業の支援・育成	33	2.60%	36	3.20%
12.商業街の魅力と賑わい	67	5.30%	65	5.80%
13.観光資源の整備・活用	98	7.70%	114	10.20%
14.働く場、雇用機会の確保	23	1.80%	30	2.70%
15.医療・保健サービスの充実	78	6.20%	31	2.80%
16.高齢者に対する介護・福祉サービスの充実	110	8.70%	38	3.40%
17.障がい者に対する福祉サービスの充実	48	3.80%	18	1.60%
18.子育てがしやすい環境づくり	61	4.80%	36	3.20%
19.保育所・幼稚園などの保育サービスの充実	32	2.50%	27	2.40%
20.公園、緑地の整備	261	20.60%	182	16.20%
21.移動しやすい道路網の整備	257	20.30%	150	13.40%
22.上水道の普及、整備	46	3.60%	42	3.70%
23.下水道の普及、整備	92	7.30%	67	6.00%
24.テレビ、携帯電話、インターネットなどの情報環境	218	17.20%	145	12.90%
25.小学校・中学校の教育環境	35	2.80%	13	1.20%
26.芸術、文化等に触れ、また活動できる環境	216	17.00%	136	12.10%
27.生涯学習に取り組みやすい環境	205	16.20%	123	11.00%
28.スポーツ、レクリエーションに親しめる環境	295	23.30%	193	17.20%

図表2-⑥ 特に重点的に取り組むべきと思う項目



図表2-⑥' そのためにあれば我慢できると思う項目



(3) 新型コロナウイルス感染症の流行による影響等について

3—① 家庭で「困っていること」は何ですか？ あてはまるものを全て選んでください。

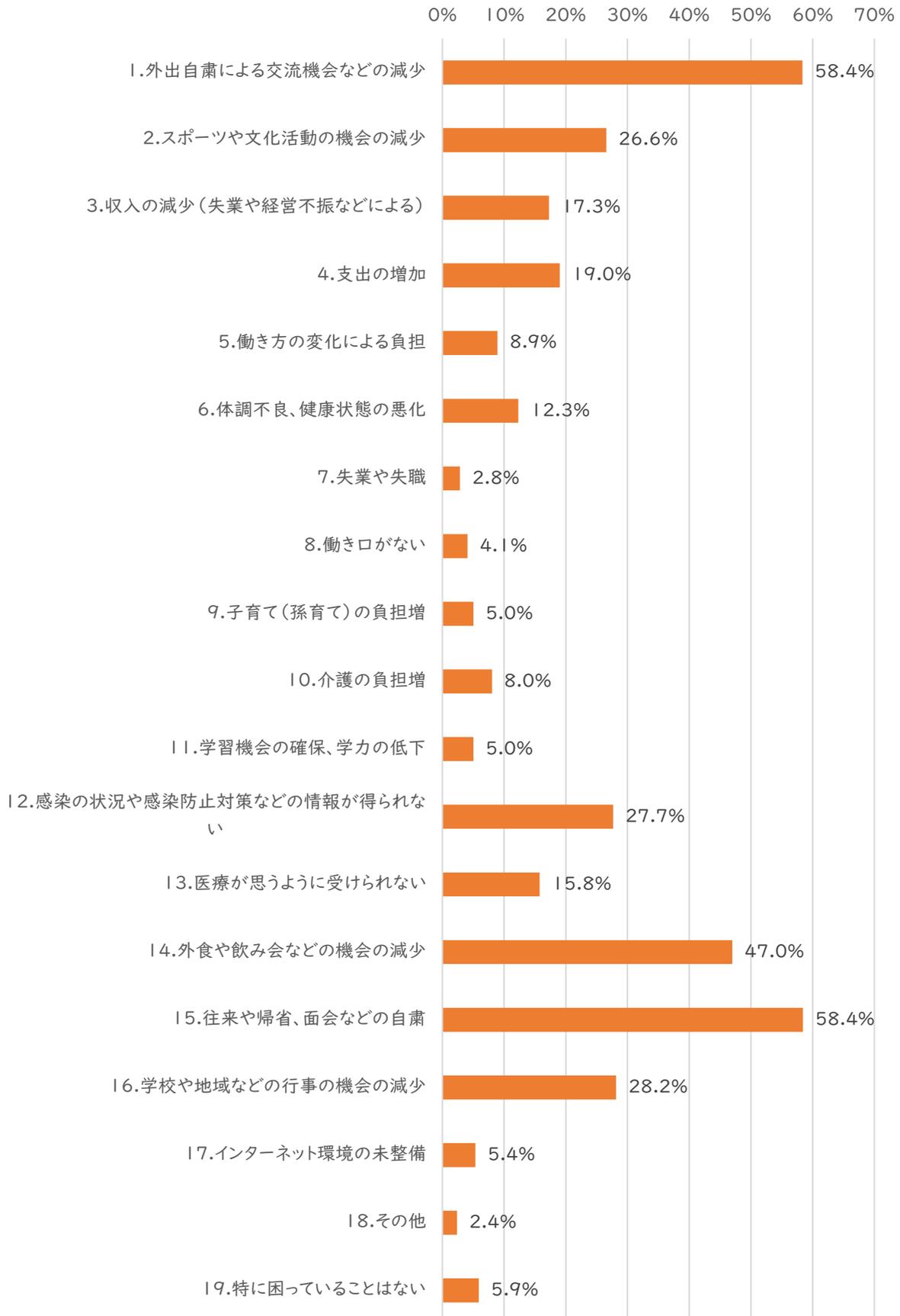
※ 項目(3)は、新型コロナウイルス感染症の流行による市民生活の影響を把握するため、本アンケートにのみ設定された項目です。

家庭で「困っていること」については、「外出自粛による交流機会などの減少」58.4%、「往来や帰省、面会などの自粛」58.4%、「外食や飲み会などの機会の減少」47.0%について、多くの回答者が困っていると答えています

一方、「特に困っていることはない」と回答した割合は5.9%でした。

	R3	
1.外出自粛による交流機会などの減少	740	58.40%
2.スポーツや文化活動の機会の減少	337	26.60%
3.収入の減少（失業や経営不振などによる）	219	17.30%
4.支出の増加	241	19.00%
5.働き方の変化による負担	113	8.90%
6.体調不良、健康状態の悪化	156	12.30%
7.失業や失職	36	2.80%
8.働き口がない	52	4.10%
9.子育て（孫育て）の負担増	64	5.00%
10.介護の負担増	102	8.00%
11.学習機会の確保、学力の低下	64	5.00%
12.感染の状況や感染防止対策などの情報が得られない	351	27.70%
13.医療が思うように受けられない	200	15.80%
14.外食や飲み会などの機会の減少	596	47.00%
15.往来や帰省、面会などの自粛	741	58.40%
16.学校や地域などの行事の機会の減少	357	28.20%
17.インターネット環境の未整備	68	5.40%
18.その他 (感染情報が開示されない、差別等が怖いなど)	30	2.40%
19.特に困っていることはない	75	5.90%

図表3-① 家庭で困っていること

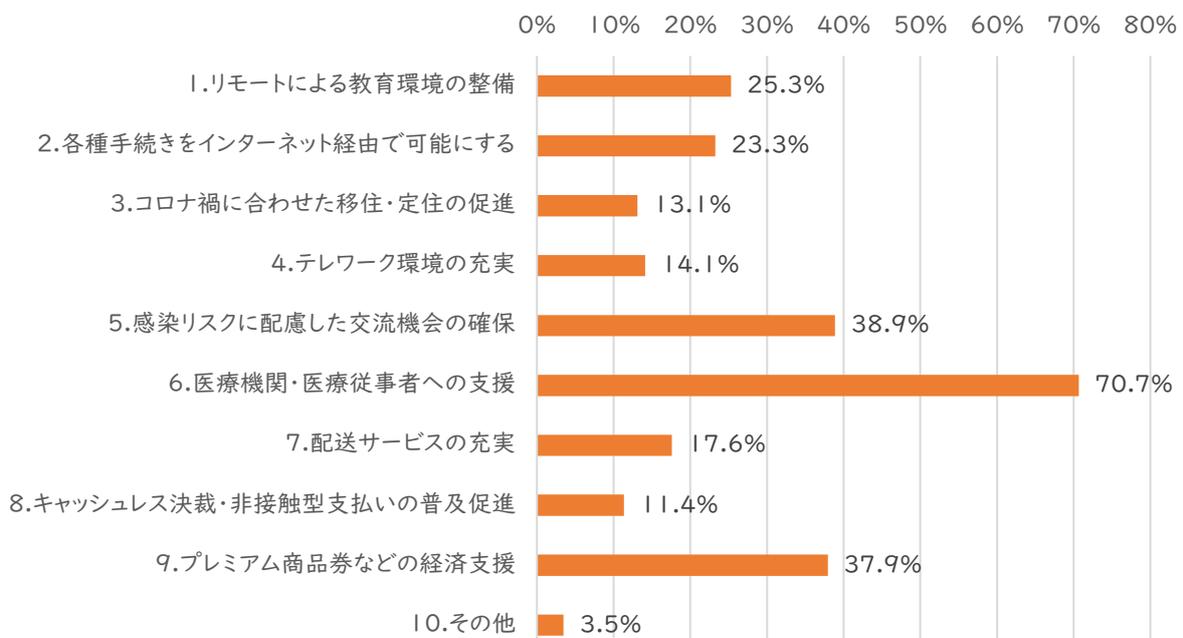


3—② 教育や経済などの活動を停滞させないための間接的な感染対策で、優先的に実施してほしいと考えるものを3つ選んでください。

教育や経済などの活動を停滞させないための間接的な感染対策で、優先的に実施してほしいと考えるものについては、「医療機関・医療従事者への支援」70.7%が最も多く、次いで「感染リスクに配慮した交流機会の確保」38.9%、「プレミアム商品券などの経済支援」37.9%などについて優先的に実施してほしいと考えられています。

	R3	
1.リモートによる教育環境の整備	321	25.30%
2.各種手続きをインターネット経由で可能にする	295	23.30%
3.コロナ禍に合わせた移住・定住の促進	166	13.10%
4.テレワーク環境の充実	179	14.10%
5.感染リスクに配慮した交流機会の確保	493	38.90%
6.医療機関・医療従事者への支援	896	70.70%
7.配送サービスの充実	223	17.60%
8.キャッシュレス決済・非接触型支払いの普及促進	144	11.40%
9.プレミアム商品券などの経済支援	481	37.90%
10.その他 (PCR検査拡充、感染情報の発信、分からないなど)	44	3.50%

図表3-② 優先的に実施してほしいと考えるもの



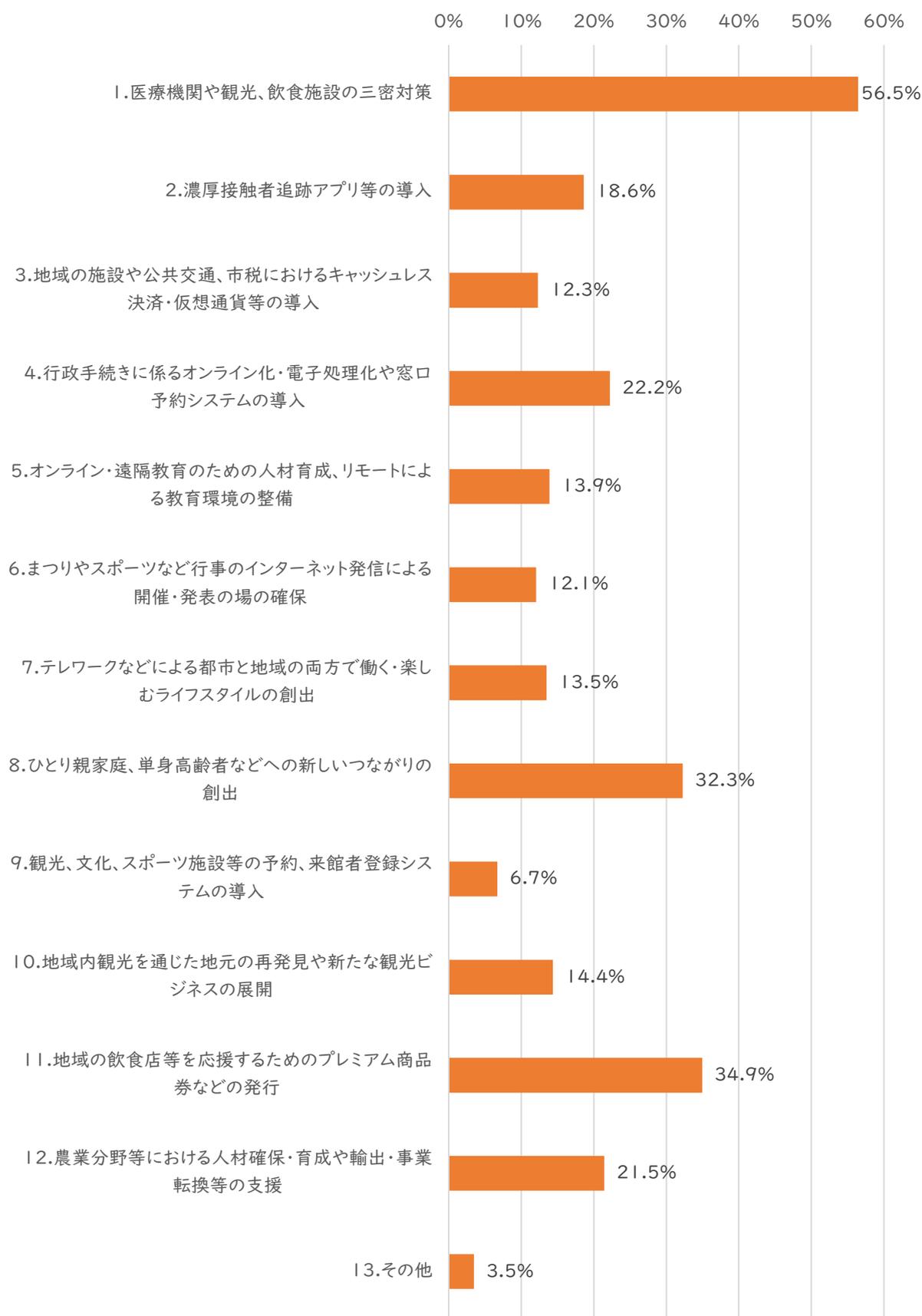
3—③ 「新しい生活様式」を踏まえ、中長期的に実施してほしいと考えるものを3

つ選んでください。

「新しい生活様式」を踏まえ、中長期的に実施してほしいと考えるものについては、「医療機関や観光、飲食施設の三密対策」56.5%が最も多く、次いで、「地域の飲食店等を応援するためのプレミアム商品券などの発行」34.9%、「ひとり親家庭、単身高齢者などへの新しいつながりの創出」32.3%などの回答が多くなりました。

	R3	
1.医療機関や観光、飲食施設の三密対策	716	56.50%
2.濃厚接触者追跡アプリ等の導入	236	18.60%
3.地域の施設や公共交通、市税におけるキャッシュレス決済・仮想通貨等の導入	156	12.30%
4.行政手続きに係るオンライン化・電子処理化や窓口予約システムの導入	282	22.20%
5.オンライン・遠隔教育のための人材育成、リモートによる教育環境の整備	176	13.90%
6.まつりやスポーツなど行事のインターネット発信による開催・発表の場の確保	153	12.10%
7.テレワークなどによる都市と地域の両方で働く・楽しむライフスタイルの創出	171	13.50%
8.ひとり親家庭、単身高齢者などへの新しいつながりの創出	409	32.30%
9.観光、文化、スポーツ施設等の予約、来館者登録システムの導入	85	6.70%
10.地域内観光を通じた地元の再発見や新たな観光ビジネスの展開	182	14.40%
11.地域の飲食店等を応援するためのプレミアム商品券などの発行	443	34.90%
12.農業分野等における人材確保・育成や輸出・事業転換等の支援	272	21.50%
13.その他 (感染情報の発信の迅速化、よく分からない、なしなど)	44	3.50%

図表3-③ 中長期的に実施してほしいと考えるもの



(4) 奥州市合併に対するあなたのお考えについて

4—① 奥州市が合併する際に、「合併の必要性」として掲げられた以下の項目について、合併前（平成17年以前）や合併直後と比べて、現在、あなたはどのように感じていますか？それぞれの項目について該当する箇所を選んでください。

「良くなった」、「やや良くなった」と感じる割合が最も多かったのは、「(3) 生活圏拡大に伴う広域的な行政需要への対応」18.3%であり、次いで、「(5) 安定した自治体運営を可能とする行財政基盤強化への対応」17.7%でした。

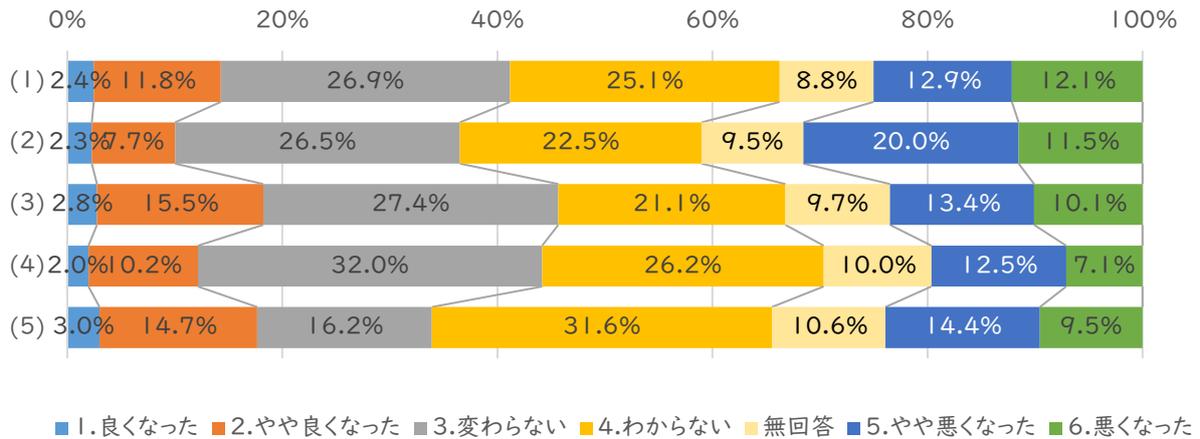
一方、「やや悪くなった」、「悪くなった」と感じる割合が最も多かったのは、「(2) 高度化・多様化する住民ニーズへの対応」31.5%であり、次いで、「(1) 急速に進む少子高齢社会への対応」25.0%となっています。

また、奥州市全体の割合と年代別を比較すると、「良くなった」、「やや良くなった」と感じる割合は、「20代」18.2%、「80代」17.8%、「40代」17.6%、「70代」16.3%の順に高く、「やや悪くなった」、「悪くなった」と感じる割合は、「60代」33.3%が高くなっています。

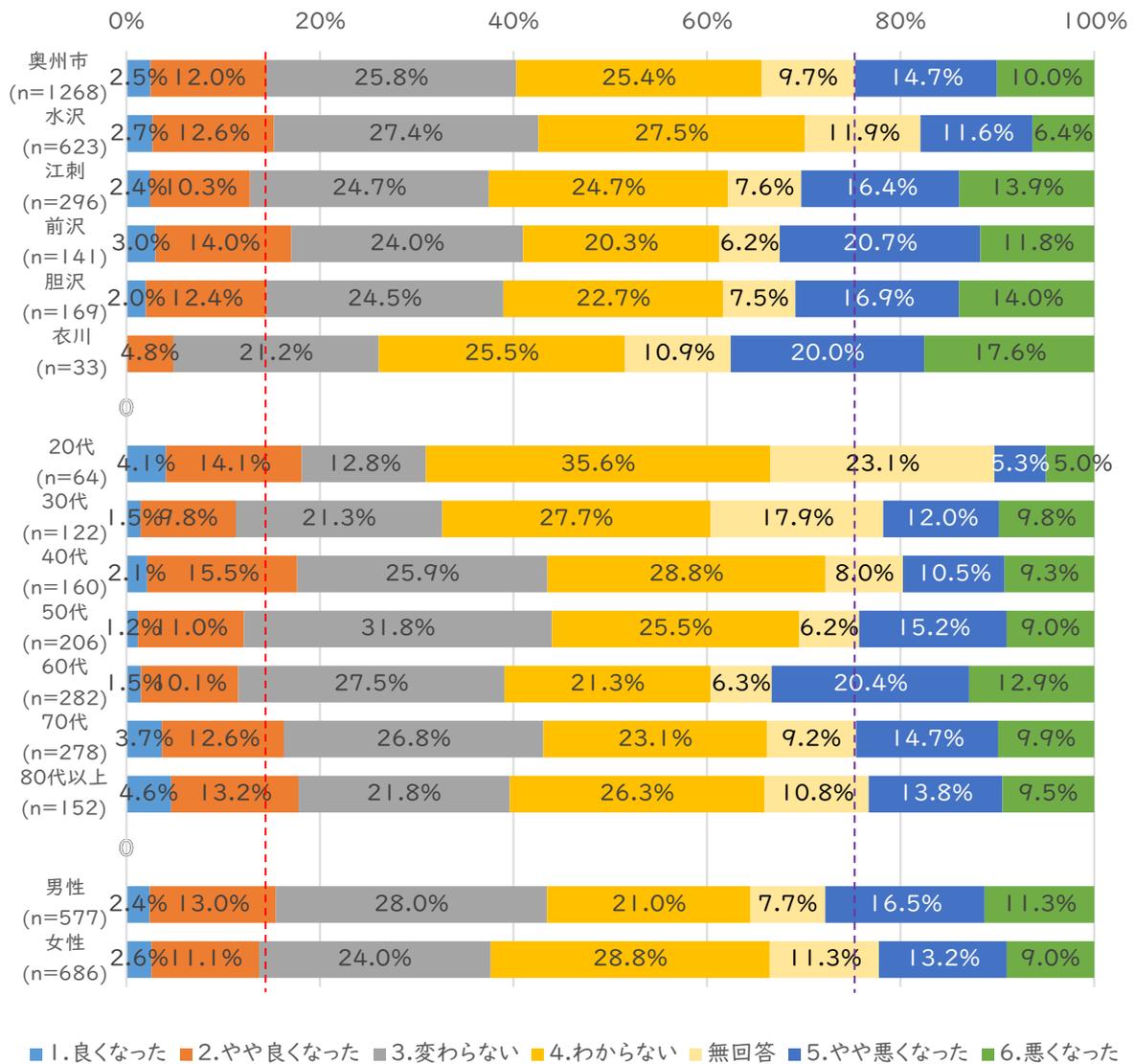
※ 属性別の集計は、母集団に対するサンプル数が少ない属性もあり、実態と誤差が生じている可能性があることから、参考値としてください。

	良 く な っ た	や や 良 く な っ た	変 わ ら な い	わ か ら な い	や や 悪 く な っ た	悪 く な っ た	無 回 答
(1) 急速に進む少子高齢社会への対応	31 2.40%	150 11.80%	341 26.90%	318 25.10%	163 12.90%	154 12.10%	111 8.80%
(2) 高度化・多様化する住民ニーズへの対応	29 2.30%	98 7.70%	336 26.50%	285 22.50%	254 20.00%	146 11.50%	120 9.50%
(3) 生活圏拡大に伴う広域的な行政需要への対応	35 2.80%	196 15.50%	348 27.40%	268 21.10%	170 13.40%	128 10.10%	123 9.70%
(4) 自主・自立を支える地方主権拡充への対応	25 2.00%	129 10.20%	406 32.00%	332 26.20%	159 12.50%	90 7.10%	127 10.00%
(5) 安定した自治体運営を可能とする行財政基盤強化への対応	38 3.00%	186 14.70%	206 16.20%	401 31.60%	182 14.40%	121 9.50%	134 10.60%

### 奥州市合併に対するあなたのお考えについて



### 奥州市の合併に対するあなたのお考えについて(属性別)



4—② (自由記載) 上記4—① において、そのように感じた具体的な理由、合併に関する評価、今後奥州市に期待すること、懸念していることなどを記入してください。

本アンケート回答者1,268人のうち、481人(37.9%)の方から「自由記載」欄へ合併に関する評価、今後の奥州市に対するご意見・ご要望等をいただきました。

いただいた回答の主な意見等については図表117のとおりです(同じ趣旨の内容については集約させていただき、主な意見を掲載しています。なお、回答の中に複数分野に対するご意見があるため、回答者数と件数の合計は一致しません。)

【図表117】「自由記載」欄への合併に関する評価等の分類

項目	分野	件数	主な意見等
(1) 急速に進む少 子高齢社 会への対 応	子育て支援	73	小児科、産婦人科のある病院の整備、子供が遊べる場の確保、子供の医療費負担の軽減など
	教育	11	小中学校の学区の見直し、部活動への任意加入、オンライン授業のための環境整備、ジェンダーレス制服の導入など
	結婚支援	7	男女の出会いの機会の創出、結婚ができるような取組・支援をしてほしいなど
	医療・福祉・介護等の拡充	54	新水沢病院の建設を進めてほしい・反対する、高齢者支援・介護サービス(施設)の充実など
	雇用の確保	10	企業誘致等による若い世代の雇用の場の確保など
	その他の(1)関連	33	急速に進む少子高齢化・人口減少に不安、高齢者だけでなく若者に対する支援をしてほしいなど
(2) 高度化・多様化する住 民ニーズ への対応	行政サービス	17	証明書のコンビニ交付・税等のコンビニ納付などの利便性の向上、開庁時間の延長・土日開設の希望など
	市民窓口	13	市役所の手続きがどの総合支所でもできる・短時間になった、総合支所で手続きが済まないことが増えたなど
	市税・保険料等	28	市民税・国保税・介護保険料の負担増、水道料金の増、給食費の増など
	その他の(2)関連	19	祝日のごみ収集、市の情報発信の拡充、ILC 誘致に関する事、市民の声を聞く機会を増やしてほしいなど

項目	分野	件数	主な意見等
(3) 生活圏拡大に伴う広域的な行政需要への対応	道路	28	市道の舗装整備、街灯整備、街路樹の整備、除雪に関する要望など
	上下水道	8	上下水道の整備推進に関する意見など
	農林業	9	農業の担い手確保、農業の法人化・近代化の推進など
	商工業・観光振興	26	商業施設・娯楽施設の誘致、水沢駅前商店街の活性化など
	交通手段・公共交通	22	高齢者に対する移動手段の確保、バス本数増の要望など
	その他の(3)関連	15	公園整備、雪捨て場の確保など
(4) 自主・自立を支える地方主権拡充への対応	地域コミュニティ	8	自治会運営が困難になっている、住民意識の向上を図ってほしいなど
	地域の活気や賑わい	18	町全体（商店街など）に活気がなくなってきているなど
	治安・防災	2	災害対策の拡充など
	その他の(4)関連	1	自立に対して考えるようになった
(5) 安定した自治体運営を可能とする行財政基盤強化への対応	職員数適正化	11	市職員の人件費の削減、AI導入による職員削減など
	財政健全化	27	財政状況の健全化、職員給与の削減など
	幼保・小・中学校等の再編	18	廃校となった学校の利活用、小中高の統廃合への不満・反対など
	公共施設等の統廃合	12	公共施設の民間移譲を推進すべき・反対するといった意見、統廃合による利便性（料金値上げなど）が悪くなったなど
その他の自由記載	合併に対する評価、コロナ対応、アンケートに関する意見など		合併は正解だった、合併しても変わらなかった、旧市町村間の均衡ある発展を進めてほしい、奥州市としての一体感の醸成が必要、これからの奥州市に期待したいなどの合併に対する意見、コロナ対策（医療体制やワクチン接種など）への意見、アンケートの方法や対象者などに関する意見・要望、その他の意見など